

穂別博物館は、昭和 57(1982) 年に開設され現在に至っている。

昭和 50(1975) 年に発見された長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本が契機となり設置計画が検討された当初は「穂別町郷土資料館」との名称だったが、建設計画では「穂別町立博物館」として名称変更されている。

当博物館では「本町で発見される化石（自然史）」の研究・保存・普及と「町の歴史（人文）」の保存・普及を行う総合博物館として運営していたが、約 10 年にわたる博物館活動の結果、自然史系資料の蓄積量と人文系資料の保存等に要する作業量に大きな差が生じ、活動方針の変更が余儀なくなった。

そこで活動方針を「穂別地域で産出する古生物（化石）を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」ことに変更したのである。

ここではその経緯を記録し、今後の活動等の充実と強化に努めていきたい。

なお、当博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されている。

I 「建設の目的」と「展示更新」、「名称変更」

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

『本町は、クビナガリュウをはじめデスモスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町 70 年（町制施行 20 年）を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

〈昭和 55(1980) 年 11 月 26 日〉

〈展示更新の基本的考え方〉

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の間接関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の 1 頁 1 頁であることを理解させる博物館とする。』

〈平成 2(1990) 年 6 月 27 日〉

〈市町村合併による名称変更〉

平成 18(2006) 年 3 月 27 日に穂別町と鶴川町の合併によって「むかわ町」が誕生し、町立博物館である当館の名称は、新町の名称に合わせて変更する必要性が生じた。しかしながら、これまでの実績との継続性、また、登録資料番号（HM-：HOBETSU MUSEUM の略）の維持のため、新名称には「穂別」の文字を残すこととし、新たな名称を「むかわ町穂別博物館」（英語表記：HOBETSU MUSEUM）とした。

II 沿革

- *本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」・「ホベツアラキリュウ」の使い分けは、以下の通り。
- ・長頸竜：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式名称。
- ・首長竜：「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・クビナガリュウ：長頸竜の通称として使用。
- ・ホベツアラキリュウ：「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された長頸竜標本の名称。
- *名称等は、当時のまま表記してある。

昭和 50(1975) 年

- 6月：荒木新太郎氏（穂別町在住）が穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部を採集した。

昭和 51(1976) 年

- 9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）が荒木氏発見の脊椎動物化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定を依頼した。

昭和 52(1977) 年

- 2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道された。荒木氏発見の脊椎動物化石が白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部であると確認された。
- 7月 5-8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。この長頸竜標本を後に「ホベツアラキリュウ」と命名。

昭和 53(1978) 年

- 5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（割出）作業開始
- 11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和 54(1979) 年

- 3月 5日：「首長竜化石骨」が穂別町指定文化財第2号に指定される。（平成元年4月1日より、「ホベツアラキリュウ化石骨」と呼称）

昭和 55(1980) 年

- 10月 16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和 56(1981) 年

- 3月 13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和 56(1981) 年

- 7月-12月：博物館建設工事
- 9月 1日：鈴木茂学芸員就任（-昭和60年3月31日）

昭和 57(1982) 年

- 1月 16日：長頸竜復元作業開始
- 3月-6月：博物館展示工事
- 7月 20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
- 8月 26日：「博物館協議会」発足
- 11月 1日：北海道博物館協会加入
- 12月 19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
- 12月 19日-1月 23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和 58(1983) 年

- 3月 2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）
- 3月 28日：「博物館協力会」設立
- 4月 1日：日本博物館協会加入
- 4月 28日：菅原康次（第二代）館長就任
- 7月 22日-8月 7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
- 8月 1日：全国科学博物館協議会加入
- 11月 1日-3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和 59(1984) 年

- 2月：村上隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
- 3月 27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
- 6月 14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
- 11月 1日-4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
- 12月 1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和 60(1985) 年

- 3月 30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
- 5月 1日：地徳学芸員就任（-平成11年3月31日）
- 11月 1日-10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和 61(1986) 年

- 10月 21日-11月 9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和 62(1987) 年

- 1月 1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
- 7月 28日-8月 9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和 63(1988) 年

- 7月 17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月 23日-9月 4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」
- 10月 6日：今幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989) 年

- 6月 30日：仲谷英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月 18日-8月 20日：特別展（第6回）「穂別のむかし = 写真で見る穂別の歴史 =」
- 9月 29日-10月 6日：地徳学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣した。

平成 2(1990) 年

- 7月 23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月 18日-9月 16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月 3日-5日：レイド、M.G. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 12月 31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成 3(1991) 年

- 4月 1日：佐藤稔（第七代）館長就任
- 4月 28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成 4(1992) 年

- 2月 1日：展示更新工事開始
- 4月 23日-25日：カリー、P. J. 氏（アルバータ州ティレル古生物学博物館）来館
- 4月 29日：展示更新完了、一般公開再開

平成 6(1994) 年

- 4月 1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月 1日：川上源太郎学芸員就任（-平成10年3月31日）

- 平成7(1995)年
7月15日-9月12日:川上学芸員をカナダ・アルバータ州ティレル古生物学博物館に派遣、研修。
8月12日:かせき学習館完成
- 平成8(1996)年
7月27日-28日:96北海道化石サミット開催(穂別町民センター)
10月6日:大江美津夫(第九代)館長就任
- 平成9(1997)年
7月6日、7月10日-8月31日:クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展(第8回特別展)
- 平成10(1998)年
4月1日:櫻井和彦学芸員就任(-現在)
6月11日:星功(第十代)館長就任
8月11日-8月31日:特別展(第9回)「地球物語り(地質学普及書の近代史)」
- 平成11(1999)年
1月1日:山田正(第十一代)館長就任
5月29日:入館者30万人突破記念事業
8月1日-8月31日:特別展(第10回)「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
10月5日-11月28日:特別展(第11回)「穂別の自然」
- 平成12(2000)年
8月1日-8月31日、9月14日-10月1日:特別展(第12回)「穂別の石-川原の石から見た穂別」
9月14日-10月1日:日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」
- 平成13(2001)年
8月1日-8月25日:特別展(第13回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」
- 平成14(2002)年
4月28日-5月17日:特別展(第14回)「ツノのある奇妙なカメラ-海の穂別からリクガメ化石の発見-」
7月1日-21日:特別展(第15回)「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」(再公開)
7月20日:開館20周年記念講演・討論会「化石の里(まち)の博物館」
7月27日-8月9日:博物館協力会企画展「穂別の化石」
8月31日-9月27日:特別展(第16回)「穂別のカメラ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」
- 平成15(2003)年
1月1日:清川博之(第十二代)館長就任
7月20日-8月31日:特別展(第17回)「穂別を泳いだモササウルス」
11月1日-1月31日:特別展(第18回)「虫とくらし」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成16(2004)年
7月17日-8月31日:特別展(第19回)「クジラとデスマスチルス-穂別を泳いだ哺乳類-」
10月30日-12月12日:特別展(第20回)「火山と地震-佐々保雄北海道大学名誉教授一括資料展」
- 平成17(2005)年
7月16日-8月31日:特別展(第21回)「ホベツアラキリュウ発見30年」
- 10月29日-12月18日:特別展(第22回)「絵はがきは語る-旅の思い出・昔のまちなみ-」(協力:北海道開拓記念館)
- 平成18(2006)年
3月27日:「むかわ町」誕生(穂別町・鶴川町の合併による)、当館の名称を「むかわ町立穂別博物館」と改称
3月27日:本多廣行(第十三代)館長就任
7月15日-9月3日:特別展(第23回)「貝が語るむかわの一億年」
10月28日-12月17日:特別展(第24回)「むかわの自然-山と干潟の生き物たち-」
- 平成19(2007)年
4月1日:柏恵一(第十四代)館長就任
7月21日-9月2日:特別展(第25回)「むかわの一億年-化石や石が語る五つの海」
11月3日-12月2日:特別展(第26回)「鉱業のまち、ほべつ-穂別の炭鉱と鉱山の歴史-」
- 平成20(2008)年
7月19日-8月31日:特別展(第27回)「海へ帰った動物たち-穂別のセキツイ動物の秘密-」
11月1日-12月7日:特別展(第28回)「穂別D遺跡-一万年前の人々のくらし-」
- 平成21(2009)年
7月18日-9月30日:特別展(第29回)「穂別海竜博物館-穂別を泳いでいた海竜たち-」
- 平成22(2010)年
2月6日-5月30日:特別展(第30回)「北海道アンモナイト図鑑」
7月17日-10月31日:特別展(第31回)「白亜紀ウミガメ化石展」
- 平成23(2011)年
3月19日-5月29日:特別展(第32回)「白亜紀巨大二枚貝 イノセラムス・ホベツエンシス展」
4月1日:今莊光男(第十五代)館長就任
7月23日~10月30日:特別展(第33回)「歯のかたち-クビナガリュウ vs モササウルス-」
12月3日:「モササウルス国際シンポジウム」
- 平成24(2012)年
4月-平成25(2013)年3月:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査 書類申請準備
12月25日-平成25(2013)年3月6日:むかわ町モササウルス類化石複製品作成委託
- 平成25(2013)年
4月1日:阿部勉(第十六代)館長就任
4月1日:西村智弘学芸員(嘱託)就任(平成21年~平成24年度 普及員)
9月2日-10月5日:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査(第一次発掘)
- 平成26(2014)年
9月4日-9月30日:穂別産恐竜化石(むかわ竜)発掘調査(第二次発掘)
- 平成27(2015)年
4月1日:加藤英樹(第十七代)館長就任
4月1日:西村智弘学芸員(正職員)就任
9月12日-9月30日:穂別恐竜化石(むかわ竜)

発掘調査（第三次発掘）

平成 28(2016) 年

4 月 1 日：田口 博（第十八代）館長就任

7 月 16 日～11 月 6 日：特別展（第 34 回）「モササウルス展」

7 月 30 日～9 月 18 日：穂別恐竜化石（むかわ竜）
発掘調査（第四次発掘）

平成 29(2017) 年

4 月 1 日：むかわ町指定登録文化財第 4 号～10 号
が指定される（「収蔵資料概要」を参照）。

9 月 29 日：ホベツアラキリュウ化石骨（HMG-1）が
北海道指定天然記念物として指定される。



開館当時の穂別博物館（空撮）



現在の穂別博物館

施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地 6

平成 21 年度：展示映像機器整備

「太古の海－クビナガリュウからのメッセージ」

事業費：4,116,000 円（消費税込）

【町立博物館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収蔵庫	86.56m ²
事務室	40.50m ²
研究室	31.50m ²
整理室	29.92m ²
学習展示室	184.75m ²
書庫	35.05m ²
共用部門	219.76m ²

〔工 期〕

昭和 56 年度～ 57 年度

〔総事業費〕

362,165,000 円

〔展示更新〕

平成 3 年度～平成 4 年度：博物館展示替え工事

事業費：99,910,000 円（消費税込）

平成 5 年度：マルチスライドイメージソフト制作

事業費：6,890,700 円（消費税込）

【かせき学習館】

〔構造規模〕

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事務室	56.70m ²
作業室	56.70m ²
書庫	14.04m ²
レプリカ室	12.15m ²
処理室	12.15m ²
展示物保管庫	162.00m ²
共用部門	12.15m ²

〔工 期〕

平成 7 年度

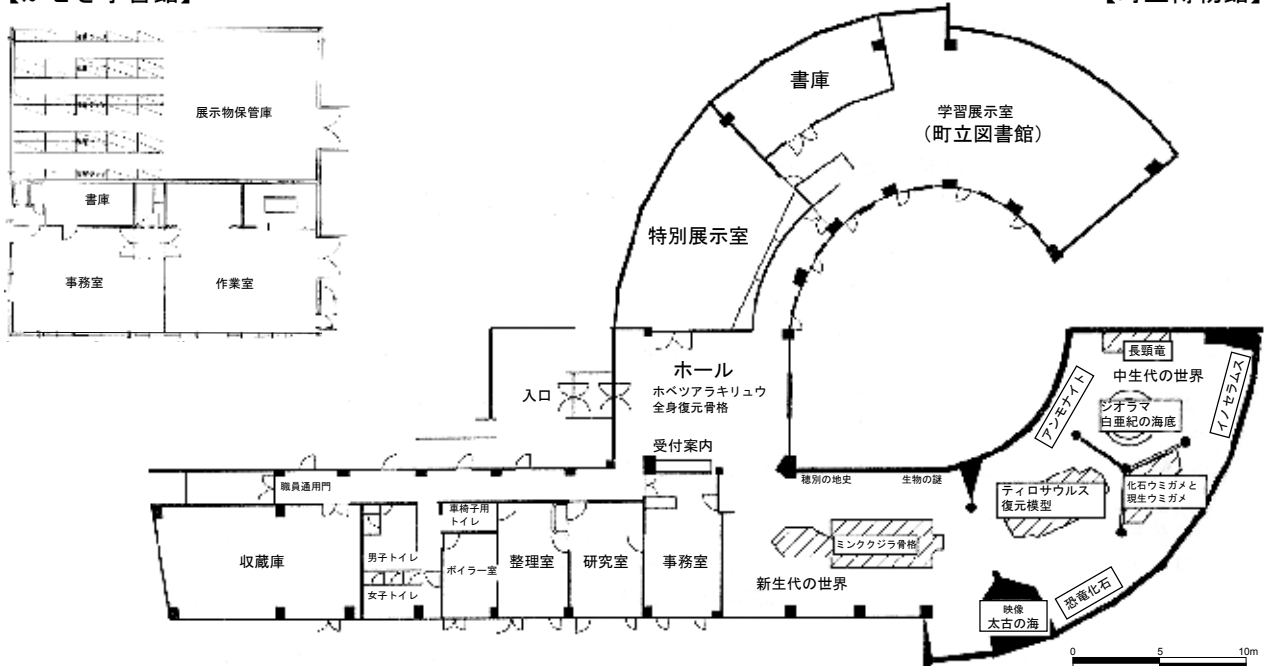
〔総事業費〕

57,092,900 円（消費税込み）

施設平面図

【かせき学習館】

【町立博物館】



展示活動

I 常設展示

主にむかわ町穂別地区から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

- 6月1日 タカハシセラス第3標本（1点）展示
- 7月2日 海緑石 岩石・薄片（計2点）展示
- 7月10日 むかわ竜実物大レリーフ（1点）の設置
- 7月13日 むかわ竜大腿骨（1点）の展示
- 8月2日 ホベツアラキリュウ復元画（1点）展示
- 8月4日 浦河産アンモナイト（12点）、宗谷丘陵産アンモナイト（15点）の展示
- 9月2日 むかわ竜共産化石（アンモナイト等9点）の展示
- 11月24日 むかわ竜実物大レリーフの修正
- 3月24日 小平産首長竜ポリコティルス（1点）の展示
- 3月30日 小平産モササウルス化石（レプリカ）（1点）の展示
- 3月30日 日高産アンモナイト（計31点）の展示



Takahashiceras タカハシセラス第三標本の展示（2017. 6. 2）



「むかわ竜」（穂別産恐竜化石）の全身骨格レリーフの設置（2017. 7. 10）



函淵層海緑石砂岩の展示（2017. 7. 2）



「むかわ竜」大腿骨の展示（2017. 7. 13）

【常設展示資料】

種 別		分 類		点 数		
化 石	中生代	脊椎動物	魚類	11	311	
			爬虫類 (恐竜 1、長頸竜 8 [*] 、モササウルス 15 [*] 、カメ 7、他 2)	33		44
		軟体動物	頭足類 178、腹足類 10、斧足類 48、掘足類 1	237		
		その他動物	節足動物 7、棘皮動物 6、刺胞動物 3	16		
		植物		13		
	生痕		2			
	新生代	脊椎動物	魚類	4	92	
			哺乳類 (クジラ 9、束柱類 2 [*] 、他 9 [*])	20		24
		軟体動物	腹足類 25、斧足類 27、掘足類 4	56		
		その他動物	節足動物 3、棘皮動物 1	4		
植物			8			
現生生物	脊椎動物	爬虫類 (カメ)	3	19		
		哺乳類 (クジラ 5、他 3)	8		11	
	軟体動物	頭足類 2	2			
	その他動物	節足動物 1、棘皮動物 2、刺胞動物 2	5			
	植物		1			
岩石・鉱物				31		
復元模型	脊椎動物	爬虫類 3 (長頸竜 1、モササウルス 1、ウミガメ 1)、哺乳類 1			4	
その他		その他模型 3、映像 4			7	
合 計				465		

(2018年3月31日現在) ※レプリカ含む



ホベツアラキリュウ復元画の展示 (2017. 8. 2)



小平産首長竜ポリコティルス (HMG-357) の展示 (2018. 3. 24)

教育普及活動

※利用者の区分は以下の通り

幼：小学生未満、小：小学生～高校生、大：一般

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

【むかわ竜化石一般公開】

会期：①平成 29(2017) 年 6 月 4 日 10:00-16:00

②平成 29(2017) 年 6 月 11 日 10:00-16:00

会場：①むかわ四季の館大ホール（鶴川地区）

②穂別町民センター多目的ホール（穂別地区）

内容：むかわ竜のクリーニング済みの化石のうち、部位の判明している化石（① 190 点、② 200 点以上^{*}）を全身骨格の形状に配置し、一般公開した。

※1つの骨が分割しているものは複数個として数えた

観覧者数：① 2,200 人、② 2,900 人 計 5,100 人

【ミニ企画展】

(1) 「ティラノサウルス『スコッティ』展」

会期：平成 29(2017) 年 4 月 21 日～8 月 31 日

（※当初予定の 4 月 21 日～7 月 2 日を会期延長）

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：スコッティ頭骨レプリカ、エドモントサウルス頭骨レプリカ、むかわ竜と同時代の恐竜の紹介。

観覧者数：13,595 人（期間中の入館者数）

(2) 「ホベツアラキリュウ化石 北海道天然記念物指定記念 実物化石大公開」

会期：平成 29(2017) 年 10 月 28 日・29 日、11 月 3 日・4 日・5 日（会場立ち会いのため公開日限定）

会場：穂別博物館 特別展示室

内容：ホベツアラキリュウ実物化石、ホベツアラキリュウの発見から復元までの紹介。

観覧者数：916 人（期間中の入館者数）



スコッティ展（2017. 4. 21～8. 31）



むかわ竜一般公開<穂別地区>（2017. 6. 11）



「ホベツアラキリュウ化石 北海道天然記念物指定記念 実物化石大公開」（2017. 10. 28・29、11. 3・4・5）

【共催の企画展】

(1) 「ティラノサウルス スコッティ特別展」

会期：平成 29(2017) 年 9 月 16 日～ 24 日

会場：むかわ四季の館 大ホール

内容：ティラノサウルス「スコッティ」の全身骨格の展示。23 日には同会場にて真鍋真（国立科学博物館・標本センターコレクションディレクター）による講演会「ティラノサウルスと最後の恐竜たち」が開催された。

主催：むかわ町役場穂別総合支所 恐竜ワールド戦略室

共催：むかわ町、むかわ町教育委員会、むかわ町恐竜ワールドセンター

観覧者数：6,119 人

【町民文化祭】

(1) 第 61 回むかわ町穂別地区町民文化祭へ出展

会期：平成 29(2017) 年 10 月 20 日～ 22 日

会場：穂別町民センター 多目的ホール

内容：むかわ竜・収蔵資料が紹介された図鑑・書籍・



「ティラノサウルス スコッティ特別展」(2017. 9. 16～24)



普及講演会「むかわ竜×ホベツアラキリュウ - 白亜紀のむかわ町穂別の陸と海 -」(2018. 2. 24)

新聞を展示

【普及講演会】

(1) 「むかわ竜×ホベツアラキリュウ - 白亜紀のむかわ町穂別の陸と海 -」

日時：平成 30(2018) 年 2 月 24 日 13:30-16:30

講師・演題

小林快次（北海道大学総合博物館准教授）「むかわ町穂別のハドロサウルス科の期限を追い求めて in2017」

佐藤たまき（東京学芸大学准教授）「北海道の海生爬虫類化石研究最前線」（オンライン出演）

参加者 むかわ町 穂別会場：75 人

オンライン配信

丹波市 ちーたんの館：190 人

篠山市 太古の生き物館：30 人

御船町 御船町恐竜博物館：20 人

与那国町 与那国町役場：10 人

西表島 西表小中学校：13 人

計 338 人

※平成 30 年度から始まる「むかわ町子ども化石くらぶ（仮称）」のプレ講座として実施された。

(2) 「北海道の化石海棲爬虫類の多様性と首長竜新研究」

日時：平成 30(2018) 年 3 月 24 日 13:00-14:00

講師：佐藤たまき（東京学芸大学准教授）

参加：26 人



普及講演会「北海道の化石海棲爬虫類の多様性と首長竜新研究」(2018. 3. 24)

【恐竜化石発掘体験ツアー】

むかわ竜の発掘現場にて化石の発掘体験を実施した。各回定員 23 名。事前申込・抽選で選出した。

観覧料（「運営」を参照）を徴収した。

参加人数計：107 人

- (1) 平成 29(2017) 年 9 月 2 日午前 発掘体験ツアー①：
小 2・大 4（計 6 人）、対応スタッフ 5 人
- (2) 平成 29(2017) 年 9 月 2 日午後 発掘体験ツアー②：
小 5・大 9（計 14 人）、対応スタッフ 6 人
- (3) 平成 29(2017) 年 9 月 3 日午前 発掘体験ツアー③：
小 8・大 7（計 15 人）、対応スタッフ 5 人
- (4) 平成 29(2017) 年 9 月 3 日午後 発掘体験ツアー④：
小 0・大 1（計 1 人）、対応スタッフ 3 人
- (5) 平成 29(2017) 年 9 月 9 日午前 発掘体験ツアー⑤：
小 6・大 6（計 12 人）、対応スタッフ 5 人
- (6) 平成 29(2017) 年 9 月 9 日午後 発掘体験ツアー⑥：
小 7・大 11（計 18 人）、対応スタッフ 5 人
- (7) 平成 29(2017) 年 9 月 10 日午前 発掘体験ツアー⑦：
小 4・大 6（計 10 人）、対応スタッフ 4 人
- (8) 平成 29(2017) 年 9 月 10 日午後 発掘体験ツアー⑧：
小 10・大 12（計 22 人）、対応スタッフ 4 人
- (9) 平成 29(2017) 年 9 月 16 日午前 発掘体験ツアー⑨：
小 2・大 3（計 5 人）、対応スタッフ 3 人
- (10) 平成 29(2017) 年 9 月 16 日午後 発掘体験ツアー⑩：
小 1・大 3（計 4 人）、対応スタッフ 3 人

【恐竜の歯化石をさがそう】

むかわ竜発掘現場から採集してきた岩石を砕き、むかわ竜の歯を探す。

①平成 29(2017) 年 3 月 26 日

10:00- 8 名（小 4・大 4）、14:00- 2 名（小 2）



恐竜化石発掘体験ツアー（2017.9.2・3・9・10・16）

【恐竜デー 2017】

化石体験コーナーとして「恐竜デー 2017」を大型連休および夏休みに実施した。

(1) 大型連休：恐竜デー GW

<実施内容>

5 月 3 日～7 日の 5 日間実施。

①恐竜が産した露頭(崖)の岩石プレゼント:約 7,200 万年前の岩石を、博物館受付窓口にて各日先着 200 名に配布。

②アンモナイトレプリカアクセサリーづくり:温めると軟化するプラスチック樹脂を用いたアンモナイトレプリカのストラップづくりを 10 時 00 分～16 時 00 分の時間帯で実施した。材料費として 1 個 100 円を徴収。むかわ町民は 1 日 1 個まで無料とした。

<開催日・実績>

平成 29(2017) 年 5 月 3 日

① 200 個、② 51 人（うち町民 20 人）・53 個

平成 29(2017) 年 5 月 4 日

① 200 個、② 49 人（うち町民 4 人）・53 個

平成 29(2017) 年 5 月 5 日

① 200 個、② 72 人（うち町民 5 人）・73 個

平成 29(2017) 年 5 月 6 日

① 127 個、② 46 人（うち町民 6 人）・47 個

平成 29(2017) 年 5 月 7 日

① 75 個、② 20 人（うち町民 1 人）・21 個

5 日間計

①岩石プレゼント：802 個

②レプリカアクセサリー：238 人・247 個

(2) 夏休み：恐竜デー 2017 夏

<実施内容>

8 月 5 日、6 日、12 日、13 日、19 日、20 日の 6 日間実施。

①恐竜が産した露頭(崖)の岩石プレゼント

②アンモナイトレプリカアクセサリーづくり

③恐竜化石バックヤードツアー:10 時 00 分・13 時 00 分に実施。むかわ竜の説明と、収蔵庫およびむかわ竜化石のクリーニング作業の案内と解説。

④恐竜の歯化石をさがそう:むかわ竜発掘現場から採集してきた岩石を砕き、むかわ竜の歯を探す体験。11 時 00 分・14 時 00 分、各回先着 10 名。

⑤化石レプリカづくり:15 時 00 分。全 31 種類の常設展示標本の石膏模型づくり。それぞれ解説シート付き。材料費として 1 個 100 円を徴収。

<開催日・成果>

平成 29(2017) 年 8 月 5 日

① 50 個、② 27 人、③ 52 人、④ 20 人、⑤ 5 人

平成 29(2017) 年 8 月 6 日

① 50 個、② 30 人、③ 53 人、④ 18 人、⑤ 5 人
平成 29(2017) 年 8 月 12 日

① 50 個、② 66 人、③ 35 人、④ 22 人、⑤ 9 人
平成 29(2017) 年 8 月 13 日

① 50 個、② 72 人、③ 49 人、④ 20 人、⑤ 6 人
平成 29(2017) 年 8 月 19 日

① 50 個、② 19 人、③ 32 人、④ 14 人、⑤ 3 人
平成 29(2017) 年 8 月 20 日

① 50 個、② 16 人、③ 30 人、④ 17 人、⑤ 7 人
6 日間計

- ① 岩石プレゼント : 300 個
- ② レプリカアクセサリー : 230 人
- ③ 恐竜化石バックヤードツアー : 251 人
- ④ 恐竜の歯化石をさがそう : 111 人
- ⑤ 化石レプリカづくり : 35 人



恐竜デー 2017 夏「バックヤードツアー」
(2017. 8. 5・6・12・13・19・20)



恐竜デー 2017 夏「レプリカづくり」
(2017. 8. 5・6・12・13・19・20)

【ワークシート等】

来館者を対象に、博物館展示室に各種シートを設置。
自由参加のため、正確な数は確認していない。

- ① 博物館探検シート : クイズ形式で、展示室の化石について学ぶ (全 4 枚)。

Ⅱ 運営協力等

【講師派遣】

- (1) 室蘭工業大学「胆振学入門」

題名 : 「むかわ町穂別から恐竜化石の発見」

講師 : 櫻井和彦学芸員

日時 : ①平成 29(2017) 年 5 月 17 日 16:30-18:00

②平成 29(2017) 年 6 月 26 日 16:15-17:45

会場 : 室蘭工業大学 (室蘭市)

参加人数 : ① 130 人、② 120 人

- (2) 北海道環境地質研究会総会

題名 : 「北海道とむかわ町穂別の化石研究」

講師 : 西村智弘学芸員

日時 : 平成 29(2017) 年 6 月 30 日 18:00-

会場 : 寒地土木研究所 (札幌市)

参加人数 : 15 人

- (3) おびら ふるさと塾

題名 : 「小平のアンモナイトの魅力について」

講師 : 西村智弘学芸員

日時 : 平成 29(2017) 年 7 月 19 日 18:30-20:00

会場 : 小平町文化交流センター (小平町)

参加人数 : 40 人

- (4) 沼田町化石館 特別展オープニングトーク

題名 : 「北海道のアンモナイトの魅力」

講師 : 西村智弘学芸員

日時 : 平成 29(2017) 年 7 月 30 日 13:00-

会場 : ほろしん温泉ほたる館ロビー (沼田町)

参加人数 : 50 人

- (5) むかわ恐竜アカデミア 2017

題名 : 「古生物群研究の最前線@穂別」

講師 : 西村智弘学芸員

日時 : 平成 29(2017) 年 8 月 13 日 13:00-15:00

会場 : 穂別町民センター

- (6) 地学団体研究会第 71 回総会 (旭川大会)

シンポジウム①「加速する北海道化石古生物系博物館の活動」

世話人 : 澤村寛 (足寄動物化石博物館)・古沢仁 (札幌市博物館活動センター)・篠原暁 (沼田町化石館)・田中嘉寛 (大阪市立自然史博物館)・西村智弘

- 日時：平成 29(2017) 年 8 月 26 日
 会場：旭川市大雪クリスタルホール（旭川市）
- (7) 北海道立札幌あすかぜ高校 2 年「地学基礎」
 （北海道教育庁北海道高等学校学力向上実践事業の一環）
 題名：「穂別博物館と学芸員の仕事の紹介」
 講師：西村智弘学芸員
 日時：平成 29(2017) 年 10 月 24 日 13:45-14:45
 会場：北海道札幌あすかぜ高等学校（札幌市）
 参加人数：300 人
- (8) 丹波竜フェスタ 2017 ～恐竜を活かした連携を考える～
 題名：「なぜ陸の恐竜が海の地層から!? ～北海道むかわ町穂別の恐竜むかわ竜の例～」
 講師：西村智弘学芸員
 日時：平成 29(2017) 年 11 月 26 日
 会場：やまなみホール（丹波市山南町）
- (9) 日高町立門別図書館郷土資料館「地域学習講座」
 題名：「むかわ竜の発見と発掘」
 講師：櫻井和彦学芸員
 日時：平成 29(2017) 年 12 月 17 日 13:30-15:00
 会場：日高町立門別図書館郷土資料館（日高町）
 参加人数：11 人
- (10) 釧路市立博物館 友の会講演会
 題名：「むかわ町穂別からむかわ竜の発見」
 講師：櫻井和彦学芸員
 日時：平成 30(2018) 年 1 月 7 日 13:30-15:30
 会場：釧路市立博物館（釧路市）
 参加人数：105 人

【運営協力】

- (1) 「心のふるさと写真展 in チ・カ・ホ」
 主催：北海道町村会
 内容：むかわ竜解説パネルの貸出
 会場：札幌市地下歩行空間（札幌市）
- (2) 「恐竜関連企業への町民見学会及び穂別博物館観覧」
 主催：むかわ町恐竜ワールド戦略室
 内容・会場
 ・有限会社ゴビサポート・ジャパン穂別工場の見学
 ・穂別博物館の見学
 実施：平成 30 年 2 月 22 日
 参加者：29 人
- (3) 「むかわ竜アカデミー in 赤れんが」
 主催：北海道胆振総合振興局
 内容：
 ・恐竜博士の「むかわ竜」講演会（小林快次准教授）
 ・「むかわ竜」映像&トークセッション
 会場：北海道庁赤れんが庁舎
 日時：平成 30 年 3 月 3 日 13:00-16:30
 参加者：120 人



胆振学入門（室蘭工業大学）（2017. 5. 17・6. 26）



北海道札幌あすかぜ高等学校（札幌市）（2017. 10. 24）

Ⅲ 団体等の利用

Ⅲ-1 町内団体等の利用

【町内学校・教育関係団体】

平成 29(2017) 年 6 月

6 日-8 日 穂別高校インターンシップ (穂別高校 2 年) <博物館業務の体験> (小 1)

19 日 鵜川高校「むかわ学Ⅰ」<講演> (小 49・大 5) 出前授業 (会場: 鵜川高校)

28 日 穂別小学校 4 年生<展示見学・化石採集> (小 18・大 3)

平成 29(2017) 年 7 月

4 日 穂別小学校 4 年生<展示見学> (小 17・大 3) 富内小学校 4 年生<展示見学> (小 1・大 1)

12 日 鵜川高校 1 年「むかわ学Ⅰ」<展示見学・化石採集> (小 49・大 5)

13 日 穂別小学校 4 年生<化石クリーニング・レプリカづくり> (小 15・大 3) 出前授業 (会場: 穂別小学校)

平成 29(2017) 年 8 月

8 日 鵜川放課後子どもセンター<展示見学> (小 63・大 8)

平成 29(2017) 年 9 月

5 日 穂別高校 1 年<展示見学・化石採集> (小 17・大 3)

平成 29(2017) 年 10 月

5 日 小中高一貫ふるさとキャリア教育「地域ダイスキ!プロジェクト(体験型)」高校生事前学習<展示学習・レプリカアクセサリ作り> (穂別高校生 8・大 2)

6 日 小中高一貫ふるさとキャリア教育「地域ダイスキ!プロジェクト(体験型)」中学生事前学習<展示学習・レプリカアクセサリ作り> (穂別中学校生 8・大 2)

12 日 小中高一貫ふるさとキャリア教育「地域ダイスキ!プロジェクト(体験型)」中学生・高校生合同リハーサル (穂別中学校生 8・穂別高校生 8・大 4)



鵜川高校 1 年「むかわ学Ⅰ」(化石採集) (2017. 7. 12)



穂別高校 1 年 (化石採集) (2017. 9. 5)



穂別小学校 4 年生「化石学習(化石クリーニング)」 (2017. 7. 13)



小中高一貫ふるさとキャリア教育 (2017. 10. 19)

- 19日 小中高一貫ふるさとキャリア教育「地域ダイスキ！プロジェクト（体験型）」実施当日＜展示解説・レプリカアクセサリー作り・展示室ウォークラリー＞（穂別小学校および富内小学校17人・穂別中学校8人・穂別高校8人・大8）
平成29(2017)年11月
- 21日 鶴川中央小学校6年生＜展示見学・質問対応・レプリカづくり＞（小9・大1）
平成29(2017)年12月
- 5日 むかわ町校長会＜展示見学＞（大6）
平成30(2018)年2月
- 27日 鶴川中央小学校3年生＜展示見学・質問対応＞（小34・大3）



鶴川中央小学校6年（レプリカづくり）（2017.11.21）



鶴川中央小学校3年（展示見学）（2018.2.27）

【町内各種団体】

- 平成29(2017)年4月
19日 むかわ町職員研修（大6）
平成29(2017)年5月
27日 むかわ二宮願照寺子ども会（小19・大9）
平成29(2017)年7月
2日 むかわ町恐竜ワールドセンター（大20）
平成30(2018)年2月
22日 町主催町内施設見学会（大12）

Ⅲ - 2 町外団体の利用

【町外学校・教育関係団体】

- 平成29(2017)年5月
31日 札幌市立白石中学校2年（小168・大13）
平成29(2017)年6月
16日 長沼高校（小55・大5）
平成29(2017)年8月
6日 富良野市扇山公民館（小2・大15）
20日 苫小牧市文化財発見ツアー2017（大41）
平成29(2017)年9月
9日 茨城大学（大35）
15日 登別郷土資料館ボランティアグループSLG（大12）
15日 千歳東小学校5・6年生（小7・大3）
29日 日高小学校（小9・大2）

【町外各種団体】

- 平成29(2017)年4月
29日 札幌シュールズ（小9・大21）
平成29(2017)年5月
16日 パウロ・フレイレ瀬戸校（小14・大3）
平成29(2017)年6月
9日 厚真町福寿会（大29）
平成28(2017)年7月
1日 アサヒキッズ（小18・大22）
2日 東栄会（幼3・大29）
2日 胆振地区母子寡婦福祉連絡会（つくしの会）（幼2・小1・大30）
4日 トパーズ山の会（大16）
13日 キングサークル老人クラブ（大20）
29日 南部育成会（小31・大13）
30日 北海道建築士会（大10）
30日 三笠市子連（小55・大14）
平成28(2017)年8月
1日 小樽教育地図研究会（小5・大43）
1日 北海道地域会議（大17）

4日 明治コンサルタント (大13)
6日 レッツスマイル実行委員会 (小8・大22)
8日 ジャクパ札幌支部 (小25・大5)
19日 シービーツアーズ (大22)
26日 本念寺 (大21)

平成29(2017)年9月

12日 岩見沢市ワークつかさ (大24)
13日 岩見沢市ワークつかさ (大27)
29日 野幌地区女性団体協議会 (大36)

平成29(2017)年10月

1日 北広島市稲穂町西1丁目町内会 (大23)
19日 あゆみの会 (大20)

平成29(2017)年11月

8日 苫小牧市見山町西町内会 (大30)

17日 丹青社 (大3)
23日 鶴居村議会議員行政視察 (大13)
平成29(2017)年11月

2日 アポイ岳ジオパークガイド (大3)
11日 札幌市議会議員視察研修 (大5)
13日 御船町議会議員行政視察 (大14)

平成29(2017)年12月

6日 胆振総合振興局産業振興部地域産業担当 松浦幹夫部長ほか (大3)

6日 元法務大臣 岩城光英氏ほか (大7)

15日 高橋はるみ北海道知事ほか (大15)

21日 桐生大学 山本博一准教授ほか (大2)

26日 有限会社ゴビサポート・ジャパン穂別支所(大6)

平成30(2018)年1月

23日 ニセコ町教育委員会学校教育課学校教育係長 (大1)

平成30(2018)年3月

23日 丹波市県民局職員 (大5)

Ⅲ - 3 その他

【資料調査等】

平成29(2017)年6月

22日・23日 北海道文化財審議委員ほか (大3)
<北海道指定文化財調査：ホベツアラキリュウ化石骨>

【視察】

平成29(2017)年4月

7日 桐生大学 山本博一准教授ほか (大2)
27日 北海道大学総合博物館ボランティア (大7)

平成29(2017)年5月

12日 北海道胆振総合振興局森林室田島係長ほか (大4)
16日 丹波市役所産業経済部恐竜・観光振興課高階課長・宮野副課長 (大2)

24日 北海道胆振総合振興局 早苗保穂副局長ほか (大6)

平成29(2017)年8月

4日 北海道地域づくり担当 今井太志局長ほか(大4)
19日 札幌市議会 鈴木健雄議員ほか (大7)
19日 衆議院 堀井学議員ほか (大4)

平成29(2017)年9月

5日 胆振教育局 阿部局長ほか (大2)
7日 北海道議会 吉川隆雅議員ほか (大8)
9日 胆振総合振興局林務課 佐々木恵課長ほか(大3)

平成29(2017)年10月

3日 胆振総合振興局林務課林道係 鈴木係長ほか (大2)

【取材等】

平成29(2017)年4月

20日 NHK 室蘭放送局記者 (大1)
26日 北海道新聞社記者 (大1)

平成29(2017)年5月

25日 HBC 記者 (大4)
26日 NHK 室蘭放送局 (大3)
27日 HTB 記者 (大3)

平成29(2017)年6月

2日 朝日新聞社東京本社記者 (大1)

平成29(2017)年7月

12日 北海道新聞社記者 (大1)

I 博物館広報活動

【ホッピーだより（博物館広報紙）】

- A 4 版両面。博物館からのお知らせ、行事予定を掲載。ホームページで公開し、町内の公共施設や学校等へ配布。
- 389 号<平成 29(2017) 年 4 月 1 日>ミニ企画展「ティラノサウルス『スコッティ』頭骨（レプリカ）」／タカハシセララス・エウレカ（アンモナイト）第三標本の発見
- 390 号<平成 29(2017) 年 5 月 1 日>むかわ竜は日本最大の恐竜全身骨格／むかわ竜全身骨格 大公開
- 391 号<平成 29(2017) 年 6 月 1 日>2016 年度の寄贈資料／蝦夷層群からはじめて海緑石を確認
- 392 <平成 29(2017) 年 7 月 1 日>2019 年度の寄贈資料 荒木新太郎氏寄贈の化石／博物館収蔵化石のむかわ町天然記念物指定について
- 393 号<平成 29(2017) 年 8 月 1 日>博物館イベント 恐竜デー 2017 夏／化石発掘体験ツアー 2017 参加者募集
- 394 号<平成 29(2017) 年 9 月 1 日>ティラノサウルス スコッティ特別展／むかわ町天然記念物紹介 フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス（むかわ町文化財第 4 号）
- 395 号<平成 29(2017) 年 10 月 1 日>ホベツアラキリュウ化石 北海道天然記念物指定／むかわ町天然記念物紹介 モササウルス・ホベツエンシス（むかわ町文化財第 5 号）
- 396 号<平成 29(2017) 年 11 月 1 日>恐竜むかわ竜全身復元骨格製作へ／むかわ町天然記念物紹介 メソダーモケリス・ウンデュラータス（むかわ町文化財第 6 号）
- 397 号<平成 29(2017) 年 12 月 1 日>図鑑・書籍に掲載されたフォスフォロサウルス／むかわ町天然記念物紹介 アノマロケリス・アングラータ（むかわ町文化財第 7 号）
- 398 号<平成 30(2017) 年 1 月 1 日>2017 年の調査・研究での来館者／むかわ町天然記念物紹介 ティロサウルス（未定種）（むかわ町文化財第 8 号）
- 399 号<平成 30(2017) 年 2 月 1 日>2017 年の教育・普及活動（外部協力）①／むかわ町子ども化石くらぶ（仮称）募集、2017 普及講演会お知らせ むかわ竜×ホベツアラキリュウ
- 400 号<平成 30(2017) 年 3 月 1 日>研究報告第 33 号の内容紹介①フォスフォロサウルスの調査・研究過程／2017 年の教育・普及活動（外部協力）②

【博物館ホームページ】

ホッピーだよりなど随時更新した。

アドレス <http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>

【むかわ町穂別博物館ブログ】

行事予定など随時更新した。

アドレス <http://pomu.town.mukawa.lg.jp/module/1550.htm>

#moduleid1550（むかわ町ポータルサイト POMU 内）

【広報むかわ】

- 平成 29 年 5 月号「むかわ町指定天然記念物（文化財）の新規指定について」
- 平成 29 年 6 月号「穂別博物館所蔵の町指定天然記念物について」
- 平成 29 年 7 月号「町指定天然記念物フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス（むかわ町文化財第 4 号）」
- 平成 29 年 8 月号「町指定天然記念物モササウルス・ホベツエンシス（むかわ町文化財第 5 号）」
- 平成 29 年 9 月号「町指定天然記念物メソダーモケリス・ウンデュラータス（むかわ町文化財第 6 号）」
- 平成 29 年 10 月号「町指定天然記念物アノマロケリス・アングラータ（むかわ町文化財第 7 号）」
- 平成 29 年 11 月号「ホベツアラキリュウ化石北海道天然記念物に指定」（表紙）
- 平成 29 年 12 月号「町指定天然記念物ティロサウルス（未定種）（むかわ町文化財第 8 号）」
- 平成 30 年 1 月号「町指定天然記念物モササウルス・プリズマティクス（むかわ町文化財第 9 号）」
- 平成 30 年 2 月号「町指定天然記念物ケントリオドン・ホベツ（むかわ町文化財第 10 号）」

【プレスリリース】

- 平成 29 年 4 月 28 日発行「国内最大の恐竜全身骨格を発見（むかわ竜）」（北海道大学と共同発行。博物館 HP・ブログに掲載）（Ⅱ 報道関係（1）むかわ竜報道会見）
- 平成 29 年 3 月 24 日発行「本邦で 3 例目のポリコティルス類首長竜（首の短い首長竜）が記載されました」（東京学芸大学、東京大学、岡山理科大学と共同発行。博物館 HP・ブログに掲載）（Ⅱ 報道関係 首長竜ポリコティルス類）

II 報道関係

【恐竜むかわ竜（むかわ町穂別産）関連】

※以下に記した以外にもインターネットで多数配信された

(1) むかわ竜報道会見

日時：平成29(2017)年4月27日10:00-11:00

会場：旧仁和小学校体育館（むかわ町穂別仁和）

説明者：中川光弘館長、小林快次准教授（北海道大学総合博物館）、竹中喜之町長、櫻井和彦、西村智弘（むかわ町）

参加者

新聞社等：北海道新聞、苫小牧民報、室蘭民報、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、共同通信社、時事通信社

テレビ局：NHK（ニュースウォッチ9、札幌放送局、室蘭放送局）、STV、HTB、TVh

<新聞>

※下記のほか、共同通信社・時事通信社配信の記事などを元に、インターネットで多数報道。

1. 平成29(2017)年4月28日 北海道新聞／朝／第1面「むかわ竜全身骨格化石 国内最大体長8メートル」
2. 平成29(2017)年4月28日 北海道新聞／朝／第18・19面（苫小牧圏）「むかわ竜全身骨格 国内最大と発表」
3. 平成29(2017)年4月28日 北海道新聞／朝／第35面（第1社会面）「むかわ竜 町の屋台骨に」
4. 平成29(2017)年4月28日 北海道新聞／夕／第1面・コラム<直線曲線>
5. 平成29(2017)年4月28日 苫小牧民報／第1面「むかわ町穂別で化石発見 国内最大の恐竜全身骨格と判明」
6. 平成29(2017)年4月28日 室蘭民報／第1面「国内最大の恐竜全身骨格 むかわ」
7. 平成29(2017)年4月28日 室蘭民報／第16面（東胆振・日高）「発掘の恐竜全身化石 国内最大」
8. 平成29(2017)年4月28日 朝日新聞／朝／第23面（道内面）「むかわ竜 沸き立つ地元」
9. 平成29(2017)年4月28日 朝日新聞／朝／第29面（社会面）「国内最大の恐竜全身骨格」
10. 平成29(2017)年4月28日 毎日新聞／朝／第27面（社会面）「むかわ町で発見の化石 体長8メートル恐竜全身骨格」
11. 平成29(2017)年4月28日 読売新聞／朝／第25面（道総合面）「恐竜全身骨格『夢のよう』」
12. 平成29(2017)年4月28日 読売新聞／朝／第28面（社会面）「日本最大の恐竜全身骨格」
13. 平成29(2017)年4月29日 北海道新聞／朝／第19面（苫小牧圏）「むかわ竜全身化石国内最大

まちの活性化に期待」

14. 平成29(2017)年4月29日 北海道新聞／朝／第33面（第4社会面）「むかわ竜公開 6月4、11日」
15. 平成29(2017)年4月29日 苫小牧民報 第1面・コラム<夕刊時評>
16. 平成29(2017)年4月29日 苫小牧民報 第2面「恐竜ワールド全国に発信」
17. 平成29(2017)年4月30日 北海道新聞／朝／第1面・コラム<卓上四季>
18. 平成29(2017)年5月3日 北海道新聞／朝刊／第22面（苫小牧圏）「よみがえる むかわ竜」<テレビニュース（4月28日）>
1. STV どさんこワイド!! 朝（5:00-8:00）
2. HTB イチオシ! モーニング（6:00-8:00）
3. NHK おはよう日本（7:00-7:45）
4. NHK おはよう北海道（7:45-8:00）
5. HTB イチオシ!（15:55-19:00）
6. TVh ゆうがたサテライト（16:54-17:45）
7. NHK ほっとニュース北海道（18:10-19:00）
8. NHK ニュースウォッチ9（21:00-22:00）

<テレビ番組>

1. NHK スペシャル「世紀の発見! 日本の巨大恐竜」(平成29年5月7日21:00-)
2. NHK Eテレ「スーパープレゼンテーション」(NHKスペシャルの映像使用)(平成29年6月22日23:00-)

<出版物>

1. 科学雑誌 Newton 7月号／平成29(2017)年5月26日発行

(2) むかわ竜一般公開

日時：①平成29(2017)年6月4日（むかわ四季の館）
②平成29(2017)年6月11日（穂別町民センター）

<新聞>

1. 平成29(2017)年6月2日 苫小牧民報／第2面「むかわ竜の全身骨格一般公開」
2. 平成29(2017)年6月5日 北海道新聞／朝／第17面（地域の話）／「むかわ竜一般公開」
3. 平成29(2017)年6月5日 北海道新聞／朝／第26面（第2社会面）／「むかわ竜デビュー 全身化石初公開」
4. 平成29(2017)年6月5日 苫小牧民報／第1面「むかわ竜 全身骨格一般公開」
5. 平成29(2017)年6月5日 室蘭民報／第2面（胆振・日高）／「穂別博物館が一般公開」
6. 平成29(2017)年6月5日 朝日新聞／朝／第23面（道内）／「8m むかわ竜 大きさを実感」

7. 平成 29(2017) 年 6 月 5 日 読売新聞／朝／第 25 面 (道総合) / 「全身骨格一般公開に 2200 人」
8. 平成 29(2017) 年 6 月 5 日 毎日新聞／朝／第 27 面 (社会) / 「むかわ竜の化石公開」
9. 平成 29(2017) 年 6 月 7 日 室蘭民報／第 11 面 (東胆振・日高) / 『むかわ竜』公開 予想以上の集客」
10. 平成 29(2017) 年 6 月 13 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話) / 「むかわ『竜みたい』 2900 人殺到」
11. 平成 29(2017) 年 5 月 16 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話) / 「むかわ竜 高まる関心 反響大」
12. 平成 29(2017) 年 6 月 2 日 北海道新聞／朝／第 21 面 (探る見る) / 「むかわ竜 まちづくりにどう活用」
13. 平成 29(2017) 年 6 月 5 日 北海道新聞／朝／第 10 面 (聞く語る) / 「恐竜博士の『むかわ竜』愛 小林快次さん」
14. 平成 29(2017) 年 6 月 5 日 北海道新聞／夕／第 1 面 (コラム・直線曲線)
15. 平成 29(2017) 年 6 月 21 日 北海道新聞／朝／第 20 面 (地域の話) / 「化石複製 むかわに工場」
16. 平成 29(2017) 年 6 月 23 日 北海道新聞／朝／第 2 面 (総合) / 『むかわ竜』商標登録出願へ」
17. 平成 29(2017) 年 7 月 9 日 朝日新聞／朝／第 25 面 (科学の扉) / 「むかわ竜 迫力デビュー」
18. 平成 29(2017) 年 8 月 20 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話) / 「振興局長と住民 語らう会」
19. 平成 29(2017) 年 8 月 23 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話) / 「むかわ竜 集客絶大」
20. 平成 29(2017) 年 9 月 15 日 北海道新聞／朝／第 20 面 (地域の話) / 「モニュメントは山車で登場」
21. 平成 29(2017) 年 9 月 15 日 北海道新聞／朝／第 20 面 (地域の話) / 「むかわ竜の化石複製へ」
22. 平成 29(2017) 年 10 月 3 日 北海道新聞／朝／第 29 面 (第 4 社会) / 「道政経懇 北大・小林准教授講演」
23. 平成 29(2017) 年 10 月 27 日 読売新聞／朝／第 32 面 (道総合) / 瞬「むかわ竜 町に活気」
24. 平成 29(2017) 年 10 月 28 日 苫小牧民報／第 2 面 / 「鶴川中と鶴川高で合同講演会 発掘の北大・小林准教授が講師」
25. 平成 29(2017) 年 11 月 3 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (特集) / 「第 71 回北海道新聞文化賞 学術部門 むかわ竜発掘を指揮 小林快次さん」
26. 平成 29(2017) 年 11 月 10 日 北海道新聞／朝／第 30 面 (第 2 社会) / 「札幌で道新文化賞贈呈式」
27. 平成 29(2017) 年 11 月 11 日 北海道新聞／朝／第 18 面 (地域の話) / 「化石レプリカ製作始動」
28. 平成 29(2017) 年 12 月 12 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話) / 「穂別地区 むかわ竜骨格模型作り」
29. 平成 29(2017) 年 12 月 14 日 北海道新聞／夕／第 1 面 / 2017 今年の顔③「むかわ竜発掘を指揮した北大准教授 小林快次さん」
30. 平成 29(2017) 年 12 月 16 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話) / 「むかわ竜 知事が視察」
31. 平成 29(2017) 年 12 月 16 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話) / 2017 日胆ニュース回顧 ②「国内最大 むかわ竜化石」
32. 平成 29(2017) 年 12 月 18 日 苫小牧民報／第 2 面 / 「高橋知事 穂別博物館を視察『全身骨格の化石は貴重』」
33. 平成 29(2017) 年 12 月 20 日 北海道新聞／朝／第 19 面 (地域の話) / 2017 年日胆の主な出来事 (1～6 月)「むかわ竜化石が国内最大と判明」
34. 平成 29(2017) 年 12 月 28 日 北海道新聞／朝／第 14 面・15 面 (特集 2017 年「あなたが選ぶ北海道 10 大ニュース」) / 第 12 位 むかわ竜は国内最大の全身骨格
35. 平成 29(2017) 年 12 月 30 日 北海道新聞／朝／第 15 面 (地域の話) ここが聞きたい / 「むかわ竜骨格模型 製作の意義は」
36. 平成 30(2018) 年 1 月 8 日 北海道新聞 (釧路版) / 朝／第 13 面 (地域の話) / 『むかわ竜』発掘経緯など詳しく」
37. 平成 30(2018) 年 1 月 12 日 北海道新聞 (釧路版) / 朝／第 15 面 (地域の話) 語る伝える / むかわ町穂別博物館学芸員 桜井和彦さん 『むかわ竜』さらに見つかる可能性」
38. 平成 30(2018) 年 1 月 24 日 北海道新聞／朝／第 17 面 (地域の話) / 『むかわ竜 地域の宝に』北大・小林准教授が講演」
39. 平成 30(2018) 年 2 月 2 日 北海道新聞／朝／第 16 面 (地域の話) / 「恐竜活用桐生大と協定 むかわ町、商品開発などで」
40. 平成 30(2018) 年 2 月 7 日 北海道新聞／夕／第 7 面 (苫小牧・札幌圏) / 「むかわ竜『ダイヤの原石』 北大の小林准教授講演」
41. 平成 30(2018) 年 2 月 10 日 北海道新聞／朝／第 14 面 (地域の話) / 「恐竜生かしたまちづくりへ町と大学が協定締結」

31. 平成 30(2018)年 3月 2日 北海道新聞／朝／第 15面(地域の話題)／「むかわ竜化石 札幌で展示」
 32. 平成 30(2018)年 3月 4日 室蘭民報／「むかわ竜魅力伝える 赤れんが庁舎でイベント」
 33. 平成 30(2018)年 3月 4日 朝日新聞／朝／第 27面(道内)／「新しい恐竜の化石採れるかな 札幌で『むかわ竜』にちなむ催し」
 34. 平成 30(2018)年 3月 5日 苫小牧民報／第 4面(道内ニュース)／「『むかわ竜』アピール 道都町が連携、赤れんが庁舎でイベント」
- <出版物>
1. 学研の図鑑 LIVE POKET「恐竜」／むかわ竜の紹介／株式会社学研プラス／平成 29(2017)年 5月 30日発行
 2. 世界恐竜発見地図／むかわ竜ほかの紹介／株式会社岩崎書店／平成 29(2017)年 5月 31日発行
 3. ジュニアエラ 2017年 7月号／「国内最大の全身骨格 むかわ竜を公開」／朝日新聞出版社／平成 29(2017)年 6月 15日発行
 4. 北海道大学総合博物館ニュース第 35号／表紙・研究報告／「国内最大の恐竜全身骨格を発見」／平成 29(2017)年 6月 26日発行
 5. milsil vol.10 No.4／News & Topics「日本最大の全身骨格恐竜化石」／国立科学博物館／平成 29(2017)年 7月発行
 6. 戦う恐竜大百科／「日本最大の全身骨格化石を発見!『むかわ竜』」／株式会社西東社／平成 29(2017)年 7月発行
 7. 恐竜最強王者大図鑑／「日本恐竜化石 MAP」にて、むかわ竜の紹介／株式会社宝島社／平成 29(2017)年 7月 28日発行
 8. サンデー毎日／「ますます恐竜がおもしろい」にて、むかわ竜の紹介／平成 29(2017)年 7月 30日発行
 9. 現代思想 八月臨時増刊号(第 45 巻第 16 号)「恐竜」／「世紀の発見“むかわ竜”が指し示す恐竜学の未来」／青土社／平成 29(2017)年 8月 10日発行
 10. 週間実話(第 60 巻 30 号)／「むかわ竜」の紹介／株式会社日本ジャーナル出版／平成 29(2017)年 8月 10日発行
 11. NHK スペシャル 列島誕生ジオジャパン「激動の日本列島 誕生の物語」／「中生代の化石」にて、むかわ竜の紹介／株式会社宝島社／平成 29(2017)年 8月 26日発行
 12. テレビマガジン第 47 巻第 9 号／「大恐竜タイムス」のページで、むかわ竜の紹介／講談社／平成 29(2017)年 9月 1日発行
 13. 小学館の図鑑 NEO 新版恐竜／「日本で見つ

かった恐竜化石」にて、むかわ竜を紹介／平成 29(2017)年 9月 13日発行

14. チャレンジ 3年生わくわく発見 BOOK 特別版／むかわ竜の全身骨格紹介／株式会社ベネッセコーポレーション／平成 29(2017)年 10月発行
15. 2018 年中学入試用サピックス重大ニュース「理科ニュース」にてむかわ竜を紹介／株式会社代々木ライブラリー／平成 29(2017)年 11月 11日発行
16. 北海道創生ジャーナル「創る」vol.5／キーパーソンに聞く 小林快次氏／北海道総合政策部地域創生局地域戦略課／平成 29(2017)年 12月発行
17. 北海道創生ジャーナル「創る」vol.5／恐竜・化



2017年5月7日放送 NHK スペシャル
(写真は番組制作時の 2017年3月)



むかわ竜全身化石写真 (2017. 4)

石を活かしたまちづくり むかわ町／北海道総合政策部地域創生局地域戦略課／平成 29(2017)年 12月発行

18. 国立科学博物館広報誌「milsil」vol.11 No.1／Focus 科学者の探究心にせまる「北海道大学総合博物館准教授 小林快次」／国立科学博物館／平成 30(2018)年 1月発行
19. 調べる学習 子ども年間 2018／「気になるニュース 理科」にて、むかわ竜の紹介／朝日小学生新聞／平成 30(2018)年 3月 31日発行

【ホベツアラキリュウ】

(1) 天然記念物指定

<新聞>

1. 平成 29(2017)年 9月 28日 北海道新聞／朝／第 33面(第 4社会面)／「ホベツアラキリュウ化石 首長くして天然記念物に」
2. 平成 29(2017)年 9月 28日 朝日新聞／朝／第 25面(道内)「ホベツアラキリュウの化石 道の天然記念物へ」
3. 平成 29(2017)年 9月 29日 苫小牧民放／第 2面／「ホベツアラキリュウ化石 道天然記念物に」
4. 平成 29(2017)年 10月 31日 苫小牧民報／第 2面／「道天然記念物指定を記念 ホベツアラキリュウ実物化石公開」
5. 平成 29(2017)年 10月 31日 朝日新聞／朝／第 26面(道内)／「実物化石、むかわで 12年ぶり公開」

【首長竜ポリコティルス類】

(1) ポリコティルス報道関係

日時：平成 29年 3月 24日(土) 11:15-11:45

会場：穂別町民センター

説明者：佐藤たまき(東京学芸大学 准教授)・西村智弘(学芸員)

参加：北海道新聞、苫小牧民報、読売新聞、STV、Uhb

<新聞>

1. 平成 30(2018)年 3月 25日 室蘭民報／第 15面／「むかわ町穂別博物館の化石 『首短い首長竜』と判明」
2. 平成 30(2018)年 3月 25日 北海道新聞／朝／第 32面(第 3社会面)／「穂別博物館収蔵の化石 クビナガリュウだけど首は短め」

【フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス】

<出版物>

1. 学研の図鑑 LIVE 古生物／フォスフォロサウルスの紹介／株式会社学研プラス／平成 29(2017)年

7月 11日発行

2. しんかのお話 365日／「日本にいたモササウルス類 フォスフォロサウルス」／株式会社技術評論社／平成 29(2017)年 8月 4日発行
3. 生物ミステリー PRP 生命史図譜／「夜行性のモササウルス類 フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス」／株式会社技術評論社／平成 29(2017)年 8月 7日発行

【モササウルス類】

<出版物>

1. こどもちゃれんじ韓国版／モササウルス類復元模型の紹介／株式会社ベネッセコーポレーション／平成 29(2017)年 8月発行

【イノセラムス・ホベツエンシス】

<出版物>

1. 学研の図鑑 LIVE 古生物／「白亜紀の示準化石：イノセラムス・ホベツエンシス」／株式会社学研プラス／平成 29(2017)年 7月 11日発行
2. しんかのお話 365日／「地層の特定に役立つ巨大な貝 イノセラムス」／株式会社技術評論社／平成 29(2017)年 8月 4日発行

【博物館事業・穂別博物館】

(1) ミニ企画展 ティラノサウルス「スコッティ」頭骨(レプリカ)

<新聞>

1. 平成 29(2017)年 5月 13日 毎日新聞／朝／第 27面(北海道)／「ティラノサウルス 1.5m 頭骨レプリカ」

(2) ティラノサウルス スコッティ特別展

<新聞>

1. 平成 29(2017)年 6月 23日 苫小牧民報／第 2面／「ティラノサウルス企画展 9月に予定」
2. 平成 29(2017)年 6月 27日 北海道新聞／朝／第 16面(地域の話)「ティラノサウルス全身公開」
3. 平成 29(2017)年 9月 12日 北海道新聞／朝／第 16面(地域の話)／「ティラノサウルス全身展示」
4. 平成 29(2017)年 9月 12日 苫小牧民報／第 2面／「ティラノサウルス特別展」
5. 平成 29(2017)年 9月 14日 朝日新聞／朝／第 27面(道内)／「ティラノサウルス、全身登場」
6. 平成 29(2017)年 9月 16日 北海道新聞／朝／第 19面(地域の話)／「恐竜の全身模型 圧巻」
7. 平成 29(2017)年 9月 16日 苫小牧民報／第 1面／「全身骨格模型 迫力満点」

8. 平成 29(2017) 年 9 月 26 日 苫小牧民報／第 2 面
／「国立科学博物館の真鍋氏講話」

9. 平成 29(2017) 年 9 月 28 日 苫小牧民報／第 2 面
／「来場者 6100 人超に」

(3) 化石発掘体験

<新聞>

1. 平成 29(2017) 年 8 月 17 日 読売新聞／朝／第 25
面 (地域) ／「化石発掘体験ツアー」

2. 平成 29(2017) 年 8 月 26 日 苫小牧民報／第 2 面
／「今年も発掘ツアー」

3. 平成 29(2017) 年 9 月 3 日 朝日新聞／朝／第 12
面 (道内) ／「むかわで体験ツアー始まる」

4. 平成 29(2017) 年 9 月 5 日 苫小牧民報／第 2 面／「発
掘体験ツアー始まる」

(4) 子ども化石くらぶ

<新聞>

1. 平成 29(2017) 年 11 月 14 日 北海道新聞／朝／第
17 面 (地域の話) ／「将来の化石博士を 来年度、
子ども向け講座」

2. 平成 30(2018) 年 2 月 25 日 北海道新聞／朝／第
16 面 (地域の話) ／「むかわ竜に興味津々
町が子ども講座」

(5) 穂別博物館ほか

<新聞>

1. 平成 29(2017) 年 8 月 18 日 北海道新聞／朝／第
17 面 (地域の話) ／日胆あゝ場所あゝ時代②
穂別炭鉱 (むかわ町)

2. 平成 29(2017) 年 12 月 毎日新聞こども新聞【北
海道版】／3 面／「化石のまち・むかわ町へ 恐竜
に会いに行こう！」

<出版物>

1. TRYANGLE 2017 年 01 号／「Documentary Trip 02:
Discover Dinosaur」にて穂別博物館の紹介／平成
29(2017) 年 9 月発行

2. LaQ 恐竜ワールド／「全国きょうりゅうミュージ
アム」にて穂別博物館の紹介／株式会社 小学館／
平成 30(2018) 年 2 月 5 日発行

3. & TRAVEL 北海道 2019／「ニュースな SPOT」にて
穂別博物館の紹介／朝日新聞出版／平成 30(2018)
年 3 月 31 日発行

<テレビ>

1. 「I B U R I (胆振) ～北海道の 7 つの町の魅力～」
にて穂別博物館の紹介／HTB 北海道テレビ放送株
式会社／平成 29(2017) 年 9 月 30 日 9:50-10:48

【その他】

(1) にっぽん恐竜協議会

<新聞>

1. 平成 29(2017) 年 5 月 24 日 北海道新聞／朝／第
19 面 (地域の話) ／「むかわ町など 4 首長 恐
竜の縁 交流拡大を」

2. 平成 29(2017) 年 11 月 21 日 北海道新聞／朝／第
17 面 (地域の話) ／「恐竜化石でまちづくり
4 市町の首長 協議会設立へ」

3. 平成 29(2017) 年 11 月 29 日 北海道新聞／朝／第
15 面 (地域の話) ／「4 市町で恐竜協議会発足
むかわ町長ら兵庫県で調印式」

4. 平成 29(2017) 年 12 月 4 日 朝日新聞／朝／第 26
面 (道内) ／「むかわなど 4 市町が連携協定」

5. 平成 30(2018) 年 2 月 20 日 毎日新聞 (兵庫) ／
朝／第 26 面 (丹波) ／「北海道・むかわ町に『竜学』
こども大使を派遣」

(2) 北海道恐竜・化石ネットワーク研究会

<新聞>

1. 平成 30(2018) 年 1 月 21 日 北海道新聞／朝／第
1 面／「目指せ恐竜王国北海道 道、5 市町と研究
会設立へ」

2. 平成 30(2018) 年 1 月 27 日 苫小牧民報／第 4 面 (道
内ニュース) ／「『恐竜王国・北海道』実現へ 道
と 5 市町で研究会発足」

(3) むかわ恐竜アカデミア・恐竜ワールドセンター

<新聞>

1. 平成 29(2017) 年 6 月 24 日 苫小牧民報／第 2 面
／「ほべつ恐竜館 土曜日に一般開放中」

2. 平成 29(2017) 年 8 月 18 日 北海道新聞／朝／第
17 面 (地域の話) ／「『アカデミア』20 日まで」

3. 平成 29(2017) 年 8 月 21 日 北海道新聞／朝／第
17 面 (地域の話) ／「『アカデミア』閉幕」

【広告等掲載】

【北海道じゃらん】(リクルート北海道じゃらん)

平成 29(2017) 年 : 8 月号

資料収集保存活動

I 登録資料等

【博物館登録資料数】

自然史系登録資料 (HMG) <地質・化石資料> : 1,683 点
自然系登録資料 (HMB) <現生動植物資料> : 167 点
人文系登録資料 (HMC) <民俗・歴史資料> : 3,761 点
計 5,611 点 (2018.3.31. 現在)

【タイプ等】

HMG-12 : *Mosasaurus hobetsuensis* Suzuki, 1985 のホロタイプ (新種)
HMG-387 : *Kentriodon hobetsu* Ichishima, 1994 のホロタイプ (新種)
HMG-5 : *Mesodermochelys undulatus* Hirayama and Chitoku, 1996 のホロタイプ (新属新種)
HMG-1065 : *Mosasaurus prismaticus* Sakurai et al., 1999 のホロタイプ (新種)
HMG-1056 : *Anomalochelys angulata* Hirayama et al., 2001 のホロタイプ (新属新種)
HMG-1573 : *Gaudryceras hobetsense* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-134、HMG-1592)
HMG- 1587a,b,c,d : *Phylloptychoceras horitai* Shigeta and Nishimura, 2013 のホロタイプ・パラタイプ (新種)
HMG-136 : *Anagaudryceras compressum* Shigeta and Nishimura, 2014 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1594、HMG-1595、HMG-1596、HMG-1597、HMG-1626)
HMG-1528 : *Phosphorosaurus ponpetelegans* Konishi et al. のホロタイプ (新種)
HMG-1660 : *Didymoceras hidakense* Shigeta, 2016 のホロタイプ (新種)
(パラタイプ : HMG-1661、HMG-1662、HMG-1663、HMG-1664、HMG-1665、HMG-1666)

【町指定文化財】

むかわ町指定文化財登録番号第 4 号 フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 5 号 モササウルス・ホベツエンシス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 6 号 メソダーモケリス・ウンデュラータス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 7 号 アノマロケリス・アングラータ (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 8 号 ティロサウルス (種未定) (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 9 号 モササウルス・プリズマティクス (平成 29 年 4 月 1 日指定)
むかわ町指定文化財登録番号第 10 号 ケントリオドン・ホベツ (平成 29 年 4 月 1 日指定)

【北海道指定文化財】

北海道指定文化財登録番号第 34 号 : ホベツアラキリュウ化石骨 (HMG-1) (平成 29 年 9 月 29 日指定)

II 野外調査活動

【現地調査】 9 回

うち、外部研究者等と合同調査 : 2 回
4 月 23 日、29 日
6 月 3 日、14 日、16 日、24 日
9 月 11 日 (東京学芸大)、13 日 (東京学芸大)、29 日

III 新規受入資料 (寄贈)

受入番号 : 寄贈資料 / 点数 / 寄贈者名 (敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】 (化石・地質) (22 件・203 点)
2017-001 : クビナガリュウ / 1 / 三宅俊一 (むかわ町穂別)
2017-002 : アンモナイト / 1 / 堀田良幸 (むかわ町穂別)
2017-003 : アンモナイト / 1 / 松田敏昭 (札幌市)

2017-004 : ブラジル産化石 / 2 / 清水繁夫 (むかわ町花園)

2017-005 : イノセラムス含有岩石 / 1 / 内田繁比郎 (岩見沢市)

2017-006 : アンモナイト / 5 / 内田繁比郎

2017-007 : クビナガリュウ化石 / 1 / 内田佳祐、内田繁比郎

2017-008 : アンモナイトほか / 150 / 伊豆倉正隆 (札幌市)

2017-010 : 骨化石 (クビナガリュウ?) / 1 / 伊豆倉正隆

2017-011 : 骨化石 (クビナガリュウ?) / 1 / 伊豆倉正隆

2017-012 : 骨化石 (クビナガリュウ?) / 1 / 伊豆倉正隆

2017-013 : 骨化石 (モササウルス?) / 1 / 伊豆倉正隆

2017-014 : 木材化石 / 1 / 堀田良幸

2017-015 : アンモナイト *Sharpeiceras* sp. / 1 / 堀田良幸

2017-016 : アンモナイト *Pachydiscus* sp. / 1 / 栗原健一 (むかわ町穂別)

2017-017 : アンモナイト *Pachydiscus* sp. / 1 / 大和治生 (札幌市)

2017-018 : アンモナイト *Damesites damesi* / 1 / 大和治生

2017-019 : オウムガイ / 1 / 河野忠男 (札幌市)

2017-020 : イノセラムス、笠型巻貝、アンモナイト / 12 / 堀田良幸

2017-021 : 大型アンモナイト (プゾシアの仲間) / 1 / 吉野弘恭 (由仁町)

2017-022 : アンモナイト、イノセラムス / 9 / 伊豆倉正隆

2017-023 : アンモナイト / 2 / 重田康成 (国立科学博物館)

2017-024 : アンモナイト / 17 / 伊豆倉正隆

2017-025 : アンモナイト、イノセラムス / 3 / 重田康成

【その他】(1件・1点)

ベビーカーの受領：一般財団法人日本宝くじ協会助成事業により、ベビーカー1台を受領した。(平成29(2017)年12月12日)

IV 新規登録資料

登録番号：資料名/受入番号/寄贈(採集)者名(敬称略)

【自然史系資料 (HMG)】(化石・地質) : 32点

HMG-1815 : クビナガリュウ / 2017-001 / 三宅 俊一 (むかわ町穂別)

HMG-1816 : アンモナイト *Pravitoceras sigmoidale* / 2017-022-01 / 伊豆倉正隆 (札幌市)

HMG-1817 : アンモナイト *Pravitoceras sigmoidale* / 2017-022-02 / 伊豆倉正隆

HMG-1818 : アンモナイト *Patagiosites alaskensis* / 2017-022-03 / 伊豆倉正隆

HMG-1819 : アンモナイト *Patagiosites alaskensis* / 2017-022-04 / 伊豆倉正隆

HMG-1820 : イノセラムス *Inoceramus shikotanensis* / 2017-022-05 / 伊豆倉正隆

HMG-1821 : イノセラムス *Inoceramus shikotanensis* / 2017-022-06 / 伊豆倉正隆

HMG-1822 : アンモナイト *Patagiosites alaskensis* / 2017-023-01 / 重田康成 (国立科学博物館)

HMG-1823 : アンモナイト *Patagiosites alaskensis* / 2017-022-07 / 伊豆倉正隆

HMG-1824 : アンモナイト *Gaudryceras* sp. / 2017-022-08 / 伊豆倉正隆

HMG-1825 : アンモナイト *Patagiosites alaskensis* / 2017-023-02 / 重田康成

HMG-1826 : アンモナイト *Patagiosites alaskensis* / 2017-022-09 / 伊豆倉正隆

HMG-1827 : アンモナイト *Saghalinites teshioensis* / 2017-024-01 / 伊豆倉正隆

HMG-1828 : アンモナイト *Gaudryceras* sp. / 2017-024-02 / 伊豆倉正隆

HMG-1829 : アンモナイト *Gaudryceras crasscostatum* / 2017-024-03 / 伊豆倉正隆

HMG-1830 : アンモナイト *Damesites* sp. / 2017-024-04 / 伊豆倉正隆

HMG-1831 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides* / 2017-024-05 / 伊豆倉正隆

HMG-1832 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides* / 2017-024-06 / 伊豆倉正隆

HMG-1833 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides* / 2017-025-01 / 重田康成

HMG-1834 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides* / 2017-024-07 / 伊豆倉正隆

HMG-1835 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides* / 2017-024-08 / 伊豆倉正隆

HMG-1836 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides* / 2017-024-09 / 伊豆倉正隆

HMG-1837 : アンモナイト *Desmophyllites diphylloides*

／2017-024-10／伊豆倉正隆
 HMG-1838：アンモナイト *Canadoceras multicostratum*
 ／2017-024-11／伊豆倉正隆
 HMG-1839：アンモナイト *Canadoceras multicostratum*
 ／2017-024-12／伊豆倉正隆
 HMG-1840：アンモナイト *Menuites soyaensis* ／2017-
 024-13／伊豆倉正隆
 HMG-1841：アンモナイト *Menuites soyaensis* ／2017-
 024-14／伊豆倉正隆
 HMG-1842：アンモナイト *Menuites soyaensis* ／2017-
 024-15／伊豆倉正隆
 HMG-1843：アンモナイト *Menuites* sp. ／2017-024-16
 ／伊豆倉正隆
 HMG-1844：アンモナイト *Menuites* sp. ／2017-024-17
 ／伊豆倉正隆
 HMG-1845：アンモナイト *Schlueteria kawadai* ／
 2017-024-17／伊豆倉正隆
 HMG-1846：イノセラムス *Inoceramus balticus* ／2017-
 025-02／重田康成

V 収蔵資料の活用（研究）

【資料調査】

[自然史系資料（HMG）]（1件・4点）
 (1) HMG-136、HMG-1573a、HMG-1587a-d、HMG-
 1660（アンモナイト4点）：辻野泰之（徳島県立博
 物館）＜平成29(2017)年6月17日＞

【貸出（研究）】

[自然史系資料（HMG）]（11件・41点）
 (1) HMG-366、HMG-367、HMG-1053、HMG-1054、
 HMG-1055（ウミガメ化石5点）：平山廉（早稲田大
 学）＜平成6(1994)年8月17日－平成28(2016)年
 3月31日＞
 (2) HMG-1063、HMG-1064（ウミガメ化石2点）：平
 山廉（早稲田大学）＜平成7(1995)年5月11日－
 平成28(2016)年3月31日＞
 (3) HMG-1443、HMG-1444（カサガイ付きアンモナ
 イト2点）：加瀬友喜（国立科学博物館）＜平成
 21(2009)年7月9日－平成28(2016)年3月31日＞
 (4) HMG-0399（アンモナイト1点）：前田晴良（京大
 学）＜平成23(2011)年10月17日－平成28(2016)
 年3月31日＞
 (5) HMG-0357（長頸竜化石1点）：佐藤たまき（東
 京学芸大学）＜平成23(2011)年11月25日－平成
 28(2016)年3月31日＞

(6) HMG-1067（長頸竜化石、遊離歯3点）：佐藤たま
 き（東京学芸大学）＜平成28(2016)年5月2日－平
 成29(2017)年3月31日＞
 (7) HMG-1067（長頸竜化石：椎骨11点・腸骨1点）、
 2016-027（長頸竜化石1点）計13点：佐藤たまき
 （東京学芸大学）＜平成29(2017)年1月20日－平
 成30(2018)年1月19日＞
 (8) HMG-1 ホベツアラキリュウ胃石4点・HMG-4 クビ
 ナガリュウ胃石1点 計5点：伊庭靖弘・安翔宇（北
 海道大学理学研究院）＜平成29(2017)年4月17日
 ～平成30(2018)年3月31日＞
 (9) アンモナイト（2016-002、2016-003、2016-005、
 2016-007、2016-008）計5点：前田晴良（九州大学
 総合研究博物館）＜平成29(2017)年11月1日～平
 成31(2019)年10月31日＞
 (10) HMG-1528 フォスフォロサウルス・ボンペテレ
 ガンス（むかわ町文化財第4号）頭頂骨、HMG-
 1065 モササウルス・プリズマティクス（むかわ町文
 化財第9号）頭骨 計2点：西村智弘学芸員＜平成
 29(2017)年12月30日～平成30(2018)年1月6日
 ＞
 (11) 2014-003（サメ化石3点含む岩石）、2014-004（サ
 メ化石1点含む岩石）計2点：小林快次・太田晶（北
 海道大学理学研究院）＜平成30(2018)年1月23日
 ～平成31(2019)年3月31日＞

VI 収蔵資料の活用（研究以外）

【貸出（展示）】

[自然史系資料（HMG）]（6件・22点）
 (1) アンモナイト（HMG-842）・イノセラムス（HMG-
 883）計2点：穂別地球体験館（館内に展示）＜平成
 7(1995)年4月1日－平成30(2018)年3月31日＞
 (2) むかわ竜化石（胴椎1点、肋骨1点、血道弓2点、
 歯2点）計6点：岐阜市科学館（「世界の恐竜ワー
 ルド2017」にて展示）＜平成29(2017)年7月24日
 ～9月4日＞
 (3) むかわ竜化石（肋骨1点、歯2点）計3点：兵庫
 県丹波市「ちーたんの館」（「丹波竜フェスタ2017」
 にて展示）＜平成29(2017)年11月25日～27日＞
 (4) むかわ竜解説パネル（7枚）一式：北海道胆振
 総合振興局（「いぶりフェア」にて展示）＜平成
 30(2018)年2月2日－2月19日＞
 (5) むかわ竜化石（胴椎1点、肋骨1点、血道弓2点、
 歯2展）、エドモントサウルス頭骨レプリカ1点、
 ガラスケース1点、むかわ竜解説パネル一式（7枚）、

デジタルフォトフレーム（解説スライド入り）1点
計10点：北海道胆振総合振興局（「むかわ竜アカデミー in 赤れんが」にて展示）＜平成30(2018)年3月3日＞

【貸出（普及教育）】（7件・226点）

[自然史系資料（HMG）等]（3件・5点）

(1) ホベツアラキリュウ荒木標本レプリカ、アンモナイト2点 計3点：地域振興課恐竜ワールド戦略室（「むかわ恐竜アカデミア2017 恐竜追悼式典」＜平成29年(2017)年8月5日＞

(2) むかわ竜紹介パネル（7枚）一式：むかわ町青年部（イオン苫小牧店「むかわ町農業青年による農産物の対面直売イベント」）＜平成29(2017)年9月2日～3日＞

(3) むかわ竜紹介パネル（7枚）一式：胆振総合振興局（ザ・ウィンザーホテル洞爺にて行われる「第30回アジア貿易振興フォーラムCEO会議」における地域並びにむかわ竜の宣伝のため）＜平成29(2017)年10月6日～7日＞

[人文系資料（HMC）]（1件・2点）

(1) 紡毛機（HMC-370、HMC-1696）2点：穂別図書館（図書館講座にて使用）＜平成29(2017)年5月17日～7月31日＞

【貸出（その他）】（1件・2点）

[自然史系資料（HMG）等]（1件・2点）

(1) アンモナイト（HMG-631、HMG-632）2点：NPO法人噴火湾アートビレッジ 永山優子（油彩画制作のため）＜平成29(2017)年6月28日～平成30(2018)年5月31日＞

【写真等提供（展示・出版・報道等）】（36件・56点）

(1) むかわ竜発掘調査状況写真 5点：苫小牧市美術博物館（平成29年度企画展「恐竜の玉手箱」にて使用）＜平成29(2017)年4月27日完成＞

(2) むかわ竜全身骨格写真、発掘状況写真、クリーニング作業状況写真 計4点：世紀東急工業（社内報掲載）＜平成29(2017)年5月発行＞

(3) むかわ竜全身骨格写真1点：誠文堂新光社（「ザ・パーフェクト」（第二版）の帯に掲載）＜平成29(2017)年5月17日発行＞

(4) むかわ竜全身骨格写真1点、尾椎骨写真1点 計2点：株式会社誠文堂新光社（「子供の科学」内記事「コカトピ！」に掲載）＜平成29(2017)年5月26日発行＞

(5) むかわ竜尾椎骨写真1点：株式会社ニュートンブ

レス（「Newton2017年7月号」、「海外版Newton」、「iPad版Newton」へ掲載）＜平成29(2017)年5月26日発行＞

(6) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社朝日新聞出版（「月刊ジュニアエラ」7月号に掲載）＜平成29(2017)年6月15日発行＞

(7) むかわ竜全身骨格写真1点、尾椎骨写真1点、大腿骨写真1点 計3点：北海道大学総合博物館（「博物館ニュース第35号」に掲載）＜平成29(2017)年6月26日発行＞

(8) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社学研プラス（国立科学博物館「情報誌milsil」7月1日発行号に掲載）＜平成29(2017)年7月1日発行＞

(9) むかわ竜全身骨格写真1点：有限会社MAVERICK（「週刊実話」掲載）＜平成29(2017)年7月6日発行＞

(10) むかわ竜全身骨格写真1点：長野市立博物館（国立科学博物館巡回展 in 長野「恐竜たちがやってくる」にて使用）＜平成29(2017)年7月10日完成＞

(11) ホベツアラキリュウ全身復元骨格写真1点：フリーライター時田慎也（「サンデー毎日」に掲載）＜平成29(2017)年7月中旬発行＞

(12) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社GB（株式会社宝島社「恐竜最強王者大図鑑」に掲載）＜平成29(2017)年7月14日発行＞

(13) むかわ竜全身骨格写真1点、2013年発掘状況写真1点 計2点：株式会社アマナ（「戦う恐竜大百科」に掲載）＜平成29(2017)年7月16日発行＞

(14) むかわ竜全身骨格写真1点：広島テレビ（広島テレビ「テレビ派」にて使用）＜平成29(2017)年7月17日放送＞

(15) むかわ竜全身骨格写真1点、発掘状況写真1点、産出状況図1点 計3点：岐阜市科学館（「世界の恐竜ワールド2017」にて展示・広報に使用）＜平成29(2017)年7月24日までに製作＞

(16) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社nice（「北海道教育旅行 事前学習ビデオ（グリーンシーズン編）」に掲載）＜平成29(2017)年7月24日から使用＞

(17) むかわ竜全身骨格写真1点：宝島社（「NHKスペシャル 列島誕生ジオジャパン 激動の日本列島誕生の物語」に掲載）＜平成29(2017)年7月24日発行＞

(18) むかわ竜全身骨格写真1点：青土社「現代思想」編集部（現代思想8月臨時増刊号「恐竜」に掲載）＜平成29(2017)年7月31日発行＞

(19) むかわ竜全身骨格写真1点：講談社（「テレビマガジン2017年9月号」に掲載）＜平成29(2017)年8月1日発行＞

- (20) むかわ竜全身骨格写真1点：小学館（「小学館の図鑑NEO 新版 恐竜」9刷以降に掲載）＜平成29(2017)年9月13日発行＞
- (21) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社ベネッセコーポレーション（ベネッセコーポレーションチャレンジ3年生「わくわく発見ブック」2017年10月号内綴じ込み小冊子および電子教材「チャレンジタッチ」内の記事配信）＜平成29(2017)年10月1日発行＞
- (22) むかわ竜全身骨格写真1点：丹波市（「丹波竜フェスタ」チラシ・ポスターに掲載のため）＜平成29(2017)年10月27日発行＞
- (23) むかわ竜全身骨格写真1点：北海道大学財務部主計課財務管理室（「財務データで見る北海道大学財務レポート2017」における「トピックス【国内最大の全身恐竜骨格を発見（むかわ竜）】」に掲載）＜平成29(2017)年10月末日発行＞
- (24) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社日本入試センター（「2018年中学入試用サピックス重大ニュース」に掲載）＜平成29(2017)年11月1日発行＞
- (25) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社あすなろ書房（「日本の島じま大研究①『日本列島の歴史と地理』」に掲載）＜平成29(2017)年12月20日発行＞
- (26) むかわ竜2013年発掘写真1点、むかわ竜全身骨格写真1点 計2点：株式会社アマナ（「戦う恐竜大百科・韓国版」に掲載）＜平成30(2018)年を予定＞
- (27) むかわ竜全身骨格写真1点、尾椎骨写真1点 計2点：国立科学博物館（広報誌「milsil」第61号に掲載）＜平成30(2018)年1月1日発行＞
- (28) むかわ竜全身骨格写真1点：共栄学園中学高等学校（「平成30年度 第1回適正検査Ⅱ」に使用）＜平成30(2018)年2月1日実施＞
- (29) 穂別博物館展示室写真4点：小学館（小学館LaQムック「恐竜ワールド」に掲載）＜平成30(2018)年2月5日発行＞
- (30) むかわ竜全身復元骨格写真1点：株式会社カルチャーランド（洋泉社「地図で楽しむすごい北海道」に掲載）＜平成30(2018)年2月15日発行予定＞
- (31) むかわ竜・ホベツアラキリュウほか写真 計3点：クラブツーリズム株式会社（「旅行募集パンフレット『旅の友』」「北海道新聞 折込広告」「募集ホームページ」に掲載）＜平成30(2018)年3月10日発行予定＞
- (32) むかわ竜全身骨格写真1点、むかわ竜発掘状況写真3点 計4点：平凡社（平凡社「太陽の地図帖 035 日本の恐竜」に掲載）＜平成30(2018)年3月31日発行予定＞
- (33) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社アルパ（「NHK プロフェッショナル仕事の流儀 信念をつらぬくプロフェッショナル」に掲載）＜平成30(2018)年4月1日発行予定＞
- (34) むかわ竜全身骨格写真1点：株式会社旺文社（「2019年受験用 全国高校入試問題正解理科」に掲載）＜平成30(2018)年6月20日発行予定＞
- (35) むかわ竜化石の産状（第一次調査）1点：教育出版株式会社（平成32年度版 小学校教科書「未来をひらく小学理科6（仮称）」に掲載）＜平成32(2020)年1月20日発行予定＞
- (36) むかわ竜全身骨格写真1点：学校図書株式会社（「みんなと学ぶ小学校理科 6年」に掲載）＜平成32(2020)年4月1日使用開始予定＞

Ⅶ 全身骨格レプリカの作製

むかわ竜の全身復元骨格（レプリカ）について、ゴビサポート・ジャパンに委託製作。期間は平成29年度～30年度。

Ⅷ 町指定文化財への登録

むかわ町文化財保護条例第6条の規定に基づき、下記の収蔵資料7点について、むかわ町指定文化財に登録手続きを行った。指定年月日は平成29(2017)年4月1日。

第4号： *Phosphorosaurus ponpetelegans* タイプ標本 (HMG-1528)

第5号： *Mosasaurus hobetsuensis* タイプ標本 (HMG-12)

第6号： *Mesodermochelys undulatus* タイプ標本 (HMG-5)

第7号： *Anomalochelys angulata* タイプ標本 (HMG-1056)

第8号： *Tylosaurus* sp. (HMG-371)

第9号： *Mosasaurus prismaticus* タイプ標本 (HMG-1065)

第10号： *Kentriodon hobetsu* タイプ標本 (HMG-387)

Ⅸ 北海道指定天然記念物への登録

ホベツアラキリュウ化石骨 (HMG-1) について、北海道指定天然記念物への登録が行われた。

- ・種別番号 記念物第 34 号
- ・指定種別 天然記念物 (地質鉱物)
- ・名称 ホベツアラキリュウ化石骨
- ・指定年月日及び番号 平成 29 年 9 月 29 日付け北海道教育委員会告示第 47 号

<経緯>

平成 29(2017) 年 6 月 22 日 天然記念物指定へ向けての現地調査：藤原秀樹主幹 (北海道教育庁)、澤村寛館長 (足寄動物化石博物館・北海道文化財審議委員) による、ホベツアラキリュウ化石骨の現地調査。

平成 29(2017) 年 9 月 5 日 北海道教育委員会の会議において、ホベツアラキリュウ化石骨を同指定天然記念物に指定することについて北海道文化財保護審議委員会に諮問することを決定。

平成 29(2017) 年 9 月 19 日 北海道文化財保護審議会において、当該標本を北海道の天然記念物に指定するように答申。

平成 29(2017) 年 9 月 27 日 北海道教育委員会の会議において、当該標本を北海道の天然記念物への指定を決定。

平成 29(2017) 年 9 月 29 日 ホベツアラキリュウ化石骨 北海道指定天然記念物として登録される。

X その他収蔵資料管理

(1) 伊豆倉標本の受入

伊豆倉正隆氏 (札幌市) からアンモナイトほかの寄贈を受けた。

平成 29(2017) 年 5 月 18 日 150 点



むかわ町指定文化財第 4 号
Phosphorosaurus ponpetelegans タイプ標本 (HMG-1528)



むかわ町指定文化財第 6 号
Mesodermochelys undulatus タイプ標本 (HMG-5)



むかわ町指定文化財第 5 号
Mosasaurus hobetsuensis タイプ標本 (HMG-12)



むかわ町指定文化財第 7 号
Anomalochelys angulata タイプ標本 (HMG-1056)



むかわ町指定文化財第 8 号
Tylosaurus sp. (HMG-371)



むかわ町指定文化財第 9 号
Mosasaurus prismaticus タイプ標本 (HMG-1065)



むかわ町指定文化財第 10 号
Kentriodon hobetsu タイプ標本 (HMG-387)



北海道指定天然記念物に指定されたホベツアラキリュウ化石骨 (HMG-1) の全身復元骨格 (2017. 9. 29 指定)

I 調査研究活動

【むかわ竜の研究】

平成 29(2017) 年度は発掘調査は実施しなかった。化石のクリーニング作業を、穂別博物館、北海道大学総合博物館ボランティア、有限会社ゴビサポート・ジャパン（委託）において進めた。また、産出化石のレプリカ作製をゴビサポート・ジャパン穂別工場にて開始した。

<研究者の来館>

平成 29(2017) 年 11 月

17 日 小林快次

25 日 小林快次

平成 30(2018) 年 1 月

25 日 小林快次ほか



むかわ竜のレプリカ作成(ゴビサポートジャパン) (2017. 12. 27)



むかわ竜の研究 (小林快次准教授) (2017. 11. 17)



むかわ竜のレプリカ作成(ゴビサポートジャパン) (2017. 12. 27)

【研究者等の来館】

平成 29(2017) 年 4 月

22 日 太田晶 (北海道大学理学院) : 白亜紀の化石と地層の調査

26 日 重田康成 (国立科学博物館グループ長)・伊豆倉正隆 (札幌市) : アンモナイトの調査

平成 29(2017) 年 6 月

17 日 辻野康之 (徳島県立博物館学芸員) : アンモナイトの 3D データの取得

平成 29(2017) 年 7 月

22 日 前田晴良 (九州大学総合研究博物館教授) ほか計 3 名

平成 29(2017) 年 9 月

1 日 安藤寿男 (茨城大学教授) : 展示標本調査

1 日 増川玄哉 (茨城大学大学院) : アンモナイトの調査

7 日 平山廉 (早稲田大学教授) : カメ化石の調査

11 日 -14 日 佐藤たまき (東京学芸大学准教授) ほか : 白亜紀の地層の調査

24 日 真鍋真 (国立科学博物館コレクションディレクター) : 業務打合せ

平成 29(2017) 年 10 月

18 日 田中嘉寛 (大阪市立自然史博物館・学芸員) : クジラ化石の研究



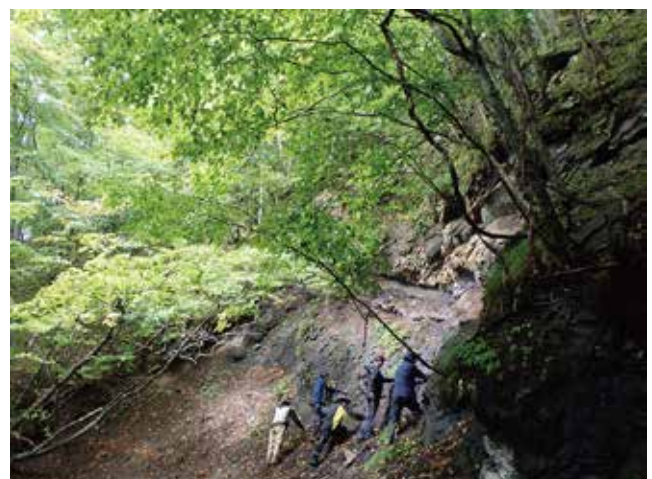
辻野泰之学芸員の来館 (2017. 6. 17)



平山廉教授の来館 (2017. 9. 7)



重田康成グループ長・伊豆倉正隆氏の来館 (2017. 4. 26)



佐藤たまき准教授ほかの来館 (2017. 9. 11-13)

【北海道新聞文化賞の受賞（小林快次准教授）】

平成 29(2017)年 11 月 9 日 北海道新聞文化賞授賞式：
第 71 回北海道新聞文化賞【学術部門】『むかわ竜』
の化石発掘など国内外の恐竜研究に貢献」小林
快次（北海道大学）

出席：櫻井和彦学芸員、西村智弘学芸員、下山正美学
芸補助員



北海道新聞文化賞受領式（小林快次准教授）
(2017. 11. 9)

Ⅱ 刊行物

【むかわ町穂別博物館研究報告】

ISSN 1882-5249

(1) 第 33 号、50 頁：平成 30(2018) 年 3 月 1 日発行
＜掲載内容＞

- ①【重田康成（国立科学博物館）・伊豆倉正隆（札幌市）】Yasunari Shigeta and Masataka Izukura: Additional specimens of *Pravitoceras sigmoidale* Yabe from the upper Campanian (Upper Cretaceous) of Hokkaido, Japan. (英文) p. 1-10.
- ②【重田康成・伊豆倉正隆】Yasunari Shigeta and Masataka Izukura: Discovery of the middle Campanian (Late Cretaceous) "Soya Fauna" ammonoids in the Hidaka area, Hokkaido, Japan. (英文) p. 11-25.
- ③西村智弘・櫻井和彦（穂別博物館）：*Phosphorosaurus ponpetelegans* ホロタイプ (HMG-1528) の発見と調査研究史. p. 27-32.
- ④下山正美（穂別博物館）：*Phosphorosaurus ponpeteregans* ホロタイプ (HMG-1528) のクリーニングについて. p. 33-36.
- ⑤新村龍也（足寄動物化石博物館）・小西卓哉（シンシナティ大学）：*Phosphorosaurus* の 3D CG による生体復元と骨格復元の制作 -3D CG ソフトによる古脊椎動物復元の有効性と将来性-. p. 37-44.
- ⑥櫻井和彦・西村智弘：穂別産恐竜化石 調査記録（3）第三次発掘. p. 45-50.

Ⅲ 論文発表

- (1) 佐藤たまき（東京学芸大学）・小西卓哉（アメリカ・シンシナティ大学）・西村智弘（穂別博物館）・吉村健（弘前大学）：A basal mosasauroid from the Campanian (Upper Cretaceous) of Hokkaido, northern Japan. *Paleontological Research* (オンラインで先行公開)
- (2) 佐藤たまき（東京学芸大学）・花井智也（東京学芸大学）・林昭次（岡山理科大）・西村智弘（穂別博物館）：A Turonian polycotyloid plesiosaur (Reptillia; Sauropterygia) from Obira Town, Hokkaido, and its biostratigraphic and paleoecological significance. *Paleontological Research* (オンラインで先行公開)

Ⅳ 学会発表

- (1) 【佐藤たまき（東京学芸大学）・花井智也（東京大学）・林昭二（岡山理科大学）・西村智弘（穂別博物館）】 Tamaki Sato, Tomoya Hanai, Shoji Hayashi and Tomohiro Nishimura, A Turonian polycotyloid plesiosaur (Reptilia; Sauropterygia) from Hokkaido, Japan, and its biostratigraphic and histological significance, Society of vertebrate paleontology, August 2017., abstracts of papers 77th annual meeting, p. 190, カナダ, カルガリー. 2017年8月23日（ポスター発表）
- (2) 西村智弘（穂別博物館）・重田康成（国立科学博物館）・小林快次（北海道大学総合博物館）・小西卓哉（シンシナティ大学）・田中源吾（金沢大学）・Dirk Fuchs（ベルリン自由大学）, 北海道穂別地域の蝦夷層群函淵層の層序と産出する古生物の研究, 第71回地学団体研究会総会（旭川）, 学術シンポジウム 加速する北海道化石古生物系博物館の活動, 講演予稿集 p. 5-6. 2017年8月26日, 旭川市大雪クリスタルホール（口頭発表）.
- (3) 西村智弘・前田晴良（九州大学）, 白亜紀アンモノイド *Damesites* 属および近縁属種の分類及び古生物地理, 第71回地学団体研究会総会（旭川）, 講演予稿集 p. 70. 2017年8月26-27日, 旭川市大雪クリスタルホール（ポスター発表）.
- (4) 佐藤たまき（東京学芸大学）・小西卓哉（シンシナティ大学）・西村智弘（穂別博物館）・吉村健（弘前大）: 北海道小平町から産出した基盤的なモササウルス類. 日本古生物学会代167回例会、口頭発表、平成30(2018)年2月2日-4日、愛媛大学.

V 学会・大会・研修会等への参加

【日本古生物学会】

- (1) 167回例会（愛媛大学）＜平成30(2018)年2月2日-4日＞：西村学芸員参加

【博物館協会等の大会・研修会等】

- (1) 日胆地区博物館等連絡協議会
 ①総会＜平成29(2017)年5月24日＞：田口館長出席
 ②館長会議及び拡大役員会＜平成30(2018)年2月14日＞：櫻井学芸員出席

【技術交流】

- (1) 足寄動物化石博物館（足寄町）を訪問
 日程：平成29(2017)年5月19日

内容：化石クリーニング作業、レプリカ作成技術に関する情報交換と技術交流

参加者：櫻井学芸員、下山学芸補助員、中村学芸補助員、高橋学芸補助員、西尾学芸補助員

VI 協力団体との連携

【穂別博物館協力会】

活動協力：

平成29(2017)年6月10日 学習用地水洗(2名参加)
 ＜学習用地の水洗補助および周辺草刈り＞



技術交流（足寄動物化石博物館）(2017.5.19)

I 行事等

【博物館協議会】

平成 28(2016) 年 8 月 25 日 第一回：8 名出席

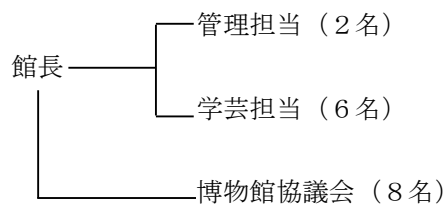
【町議会への説明】

平成 29(2017) 年 11 月 15 日 第 7 回総務厚生文教常任委員会・第 6 回産業建設常任委員会：恐竜ワールド構想の整備について（むかわ竜についての説明）

【博物館実習】

平成 29(2017) 年 8 月 2 日 -6 日：田中望羽（北海道大学理学院）

II 組 織



【博物館協議会委員】 <平成 29(2017) 年度>

任期：平成 28(2016) 年 8 月 1 日 - 平成 30(2018) 年 7 月 31 日

会 長 梅津讓一
副会長 山田正
委 員 只野繁
委 員 田中波留美
委 員 相澤孝行
委 員 宮田千春
委 員 大捕 功
委 員 栗原憲一

【博物館職員】 <平成 29(2017) 年度>

< 館 長 >	田口 博
< 管理担当 >	
臨時職員	早瀬千佳
臨時職員	田村見弥
< 学芸担当 >	
学芸員	櫻井和彦
学芸員	西村智弘
学芸補助員 (嘱託職員)	下山正美 (～ 3 月)
学芸補助員 (臨時職員)	高橋孝 (～ 9 月)
学芸補助員 (臨時職員)	中村正彦
学芸補助員 (臨時職員)	西尾大輔 (4 月～ 2 月)
学芸補助員 (臨時職員)	五十嵐昭頼 (11 月～ 3 月)
ボランティア	村上 隆

III 刊行物

【むかわ町穂別博物館館報】

ISSN 1882-5230

第 34 号：平成 28(2016) 年度版

32 頁、平成 30(2018) 年 3 月発行

IV 利用状況

【常設展示観覧者】

平成 29(2017) 年 4 月～平成 30(2018) 年 3 月

月	一般	学生	小計	幼児	合計	開館日
4	625	227	852	213	1,065	26
5	2,286	852	3,138	415	3,553	24
6	1,741	450	2,191	250	2,441	26
7	2,032	683	2,715	363	3,078	29
8	3,665	1,396	5,061	799	5,860	30
9	1,320	291	1,611	228	1,839	25
10	1,258	295	1,553	256	1,809	25
11	976	160	1,136	182	1,318	25
12	179	30	209	32	241	26
1	169	49	218	48	266	21
2	159	51	210	32	242	23
3	385	110	495	124	619	26
計	14,795	4,594	19,389	2,942	22,331	306

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

【博物館開館記念日関連事業】

7 月 20 日の開館記念日に関連して、平成 29(2016) 年 7 月 15 日(土)～7 月 21 日(金)の 7 日間を町民無料入館日とした。

【国際博物館の日】

国際博物館会議(イコム、ICOM)のモスクワ大会(1977 年)にて制定され、日本では平成 14 年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」(5 月 18 日)の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

【年間入館者数の比較】

(単位：人)

分類	平成 25 年度 (2013)	平成 26 年度 (2014)	平成 27 年度 (2015)	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	
個人	一般	6,483	7,278	6,727	7,780	13,836
	学生	2,527	2,611	2,218	2,454	3,796
団体	一般	525	684	414	477	959
	学生	559	378	383	795	798
計	10,307	10,951	9,742	11,506	19,389	
幼児	1,583	1,690	1,621	2,049	2,942	
合計	11,890	12,641	11,363	13,555	22,331	

個人：割引入館者(穂別地球体験館との共通利用割引)と無料入館者(特定入館日、減免等)を含む。
 団体：10 名以上、一般：高校生より上、学生：小学生～高校生、幼児：小学生未満(無料)

【北海道みんなの日】

7 月 17 日が「北海道みんなの日(道みんなの日)」に制定されたのを受け、当日を北海道民の無料入館日とした。

【博物館特定入館日に伴う町民無料入館】(単位：人)

実施日	行事名	一般	学生	計
H29. 5. 18	国際博物館の日	3	0	12
7. 15-21	博物館開館記念日	14	4	18
7. 17	北海道みんなの日	191	90	281
9. 18	敬老の日	0	1	1
11. 3	文化の日	5	2	7
11. 23	勤労感謝の日	3	2	5
H30. 1. 8	成人の日	1	2	3
計	12 日	217	101	318

一般：高校生より上、学生：小学生～高校生

【町内児童生徒に対する入館料免除】

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、むかわ町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。(平成 14 年度より実施)

平成 29 年度の利用者数：67 人

V 歳入・歳出

【歳入】

区 分		有料入館者数	観覧料
一般	個人	11,481	3,445
	団体	880	176
	割引	1,703	341
学生	個人	3,118	312
	団体	522	27
	割引	509	26
小 計		18,213	4,334
諸収入		物品販売代	59
		体験学習料	71
小 計			130
合 計			4,463

(単位：人・千円)

【歳出】

費 目	金 額
報 酬	2,204
共 済 費	1,174
賃 金	6,203
報 償 費	160
旅 費	319
需 用 費	8,702
役 務 費	388
委 託 料	19,615
使用料及び賃借料	838
備 品 購 入 費	660
負担金補助及び交付金	36
工 事 費	0
補償補填及び賠償金	0
博 物 館 費 合 計	40,296

(単位：千円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】

- ・毎週月曜日。
- ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日および日曜日に当たるときは月曜日とし、月曜日が国民の祝日又はその翌日に当たるときは火曜日及び水曜日とする。
- ・12月31日-1月5日。
- ＊7、8月は無休。

【観覧料】

	一般	学生
個人	300円	100円
団体	200円	50円
割引	100円	無 料

一般：高校生より上

学生：小学生・中学生・高校生

幼児（未就学児童）は無料（要大人の付添い）

団体：10人以上

割引：穂別地球体験館（体験館）との共通利用割引（両施設を見学する場合の割引制度。体験館に先に入館した場合、この料金が適用される。当館を先に入館した場合は通常料金で、体験館の入館料が割引される。）

【減 免】

「（むかわ町立）博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない（むかわ町立博物館設置条例、第4条）」が「（むかわ町）教育委員会は、特別の理由があると認めたときは、観覧料を減免することができる（同条例、第5号）」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

むかわ町立博物館施行規則第4条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

（教育目的）

1) むかわ町内の小・中学校及び高等学校の児童生徒と引率者が教育を目的として入館する場合。

（研究目的）

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・

研究のため入館する場合。

(福祉目的)

3) 老人福祉法（昭和 38 年法律第 133 号）第 15 条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

4) 知的障害者福祉法（昭和 35 年法律第 37 号）第 19 条に規定する町内の知的障害者援護施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合。

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に館長が必要と認める場合。

むかわ町穂別博物館館報

第 3 5 号

平成 29（2017）年度版

発行 2019 年 3 月

発行者 むかわ町穂別博物館

〒 054-0211

北海道勇払郡むかわ町穂別 80 番地の 6

TEL/FAX（0145）45-3141